

日本の未来を描く。



〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2

中央合同庁舎第2号館

tel 03(5253)5111(代)

■ 交通アクセス ■

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅下車 A2 出口徒歩1分

有楽町「桜田門」駅下車 4 番出口徒歩3分

銀座線「虎ノ門」駅下車 6 番出口徒歩約8分

■ ホームページ ■

<http://www.soumu.go.jp/>

平成27年度

一般職採用案内

MINISTRY OF INTERNAL AFFAIRS AND COMMUNICATIONS

総務省
先輩職員からの
メッセージ



CONTENTS

総務省入省後のキャリアステップの一例

3

行政制度の管理運営

常に新しきを求めて	行政管理局主査 併任 内閣官房内閣人事局	田中 裕晃	5
その先の“達成感”へ。	行政評価局総務課地方業務室長	高橋 巧	6
幅広い業務が待っています。	統計局統計調査部経済統計課研究分析係長	井岡 貴司	7
統計で日本の未来図を描く	統計局統計調査部消費統計課統計専門職	山口 琉美子	8
Better Data. Better Lives.を目指して	政策統括官(統計基準担当)付 国際統計管理官付	新垣 真輝	9
先輩の一日 密着！若手評価マンの一日	行政評価局評価監視官付	藤田 浩輔	10

地方自治行政

多様な経験×多様な交流＝無限の可能性	自治行政局行政課	福富 貴大	11
社会が変わる！を体感しませんか？	自治行政局公務員部公務員課 給与能率推進室定員管理係長	原 志津子	12
全国の友人とともに地域を元気に	自治財政局財務調査課財務調査係長	平本 勝也	13
「税」を通じて、できること	自治税務局都道府県税課法制係長	西脇 陽平	14
全国の仲間とともに。	消防庁国民保護・防災部防災課 応急対策室応急対策第一係長	原 敏博	15
先輩の一日 地方交付税17兆円～交付決定の1日～	自治財政局交付税課	伊藤 大智	16

放送・情報通信・郵政行政

国際業務の経験を積む	情報通信国際戦略局国際協力課	中村 聰史	17
I C T 利活用で元気な日本を	情報流行政局情報流通振興課主査	山本 明央	18
ドキドキ、ワクワクする仕事	情報流行政局放送政策課国際係長	遠藤 祐子	19
I C T の未来を想像して創造する	総合通信基盤局電気通信事業部 料金サービス課業務係長	中村 星紗	20
新世代への展望	総合通信基盤局電波部移動通信課新世代 移動通信システム推進室システム企画係長	齋藤 加奈	21
先輩の一日 国連防災世界会議の一日。	情報通信国際戦略局国際協力課	佐藤 多恵	22

若手職員一問一答

23

先輩からのメッセージ（地方支分部局）

国民の声に応えたい	三重行政評価事務所行政相談課業務係長	高木 美里	25
あなたの知恵を行政に活かしましょう！	近畿管区行政評価局総務部長	内藤 和久	26
ICTは地方の強力な味方です！	四国総合通信局無線通信部陸上課	山田 雅人	27
「不法電波」に目を光らせる	沖縄総合通信事務所監視調査課	又吉 智子	28

中堅職員インタビュー

先輩からのメッセージ（地方自治体・海外・出向・留学）

内閣官房内閣人事局に出向中	内閣官房内閣人事局(交流第一係長 兼 交流第二係長)	泉 一崇	31
会計検査院で働いています。	会計検査院(第4局農林水産検査第2課調査官)	渡辺 真理	32
総務省は魅力溢れる人達の集合体	芦屋市総務部参事(財務担当部長)	脇本 篤	33
国の最先端としての地方	上尾市行政経営部財政課長	織田 知裕	34
地方のみなさんとともに	長野県企画振興部市町村課	黒田 祐介	35
やりがいを感じさせる場所	長崎県企画振興部市町村課	野本 明日香	36
中国で、1人でも多くの日本ファンを！！	在中華人民共和国日本国大使館二等書記官	小玉 豪人	37
国立(くにたち)で考える	人事院行政官国内研究員(一橋大学大学院)	根岸 正幸	38

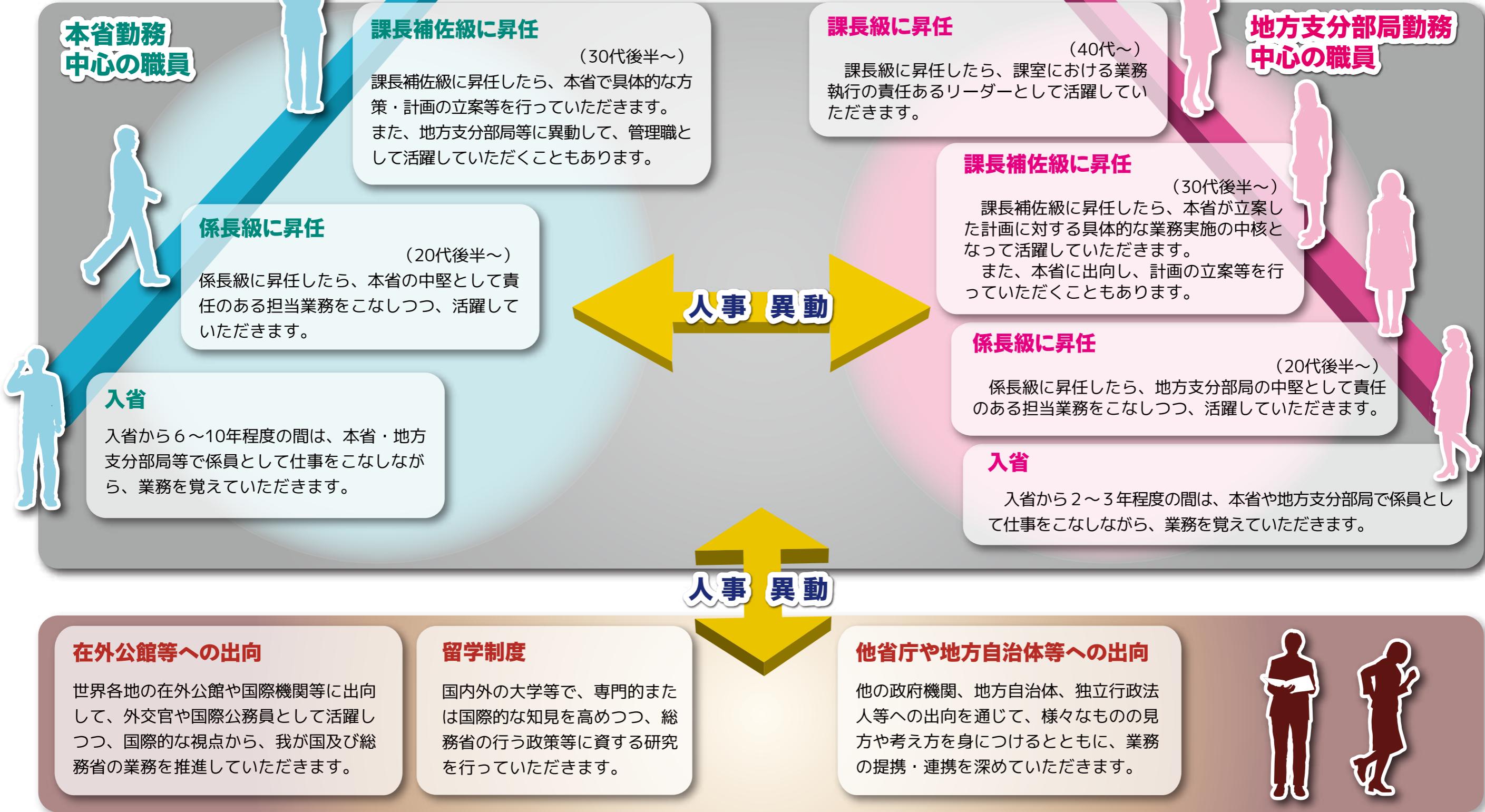
Q&A

総務省の組織		41
連絡先		42
アクセス		裏表紙

キャリアステップの一例

これはあくまで目安です。本人の勤務成績や希望等により変わります

省の幹部職員へ



PROFILE Hiroteru Tanaka

平成14年 4月	総務省採用
	関東管区行政評価局
平成16年 4月	群馬行政評価事務所評価監視官付
平成18年 4月	行政管理局行政情報システム企画課
平成21年 4月	大臣官房秘書課主査
平成24年 7月	行政評価局評価監視調査官
平成26年 7月	現職

行政管理局主査 併任 内閣官房内閣人事局
田中 裕晃

常に新しきを求めて

仕事内容

新しい形をつくる仕事

私は、現在、各府省の機構・定員の要求について、行政需要の変化に対応した効率的な行政組織と効果的な体制とするための審査等を行っています。具体的には、毎年8月末に各府省から要求書が提出され、9月から年末までの予算編成過程において、各府省から要求内容や理由の説明を受け、局議等を通じて審査を行います。この期間中は担当府省別に仕切られた「査定室」で業務を行い、1年間の業務のピークを迎えます。そして、審査結果は、財務省主計局に伝達し、最終的には政府予算案に反映されます。

また、私はそれ以外にも、ICTも活用した各府省の業務フローの見直しなどの業務改革を積極的に推進するといった業務も行っています。

これらの業務は、行政の新しい形をつくる仕事であり、未来を見通せるマインドが重要だと強く感じています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

『面白そう』から『やっぱり面白い』へ

10数年前の採用面接で「総務省に入ったら何をしたいですか?」という定番の質問に「政策評価や評価・監視(行政評価局調査)をやりたいです。」と答えました。『なんとなく面白そうだし』くらいの感覚でした。

そして、平成24年7月から行政評価局調査を担当しました。調査計画の策定から、全国の局所を動員した調査の実施、調査結果の取りまとめ、結果に基づく改善方策等の勧告・公表に至るまで携わることができました。この業務がこれまでに経験した中で最も面白く、印象深いものとなりました。行政評価局調査は、まさに調査先の行政機関、現行制度との「真剣勝負」。もちろん正直しんどい場面もありますが、その先には大きな「達成感」が待っています。

総務省のHPやこのパンフレットを見て『なんとなく面白そう』と思ったら、総務省の門を叩いてみてください。『なんとなく面白そう』が『やっぱり面白い』に変わる日が来ると思いません。

Private Time

昔から「一生の趣味はこれだ!」と突発的に思い、『道具を完璧に買い揃える→周囲を巻き込む→1度経験すると満足』を繰り返しています。このため、週末はその時の趣味に時間を費やしています。今の趣味は、購入した一眼レフで友人達と一緒に撮影すること。皆さんのが入省する頃には、また新しい趣味を紹介できると思います。

とある一週間

- 月曜日 A省に先週の局議結果を説明し、作業を依頼。
- 火曜日 明日のB省に係る局議に向け、係内打合せ。資料の準備。
- 水曜日 午後からB省に係る局議。終了後、局議結果メモを作成。
- 木曜日 B省に局議結果を説明し、作業を依頼。午後は、A省からヒアリング。
- 金曜日 昨日のヒアリング結果のメモを作成。来週に向けた係内打合せ。



PROFILE Takumi Takahashi

昭和58年 4月	行政管理庁採用
	九州管区行政監察局
平成13年10月	行政評価局評価監視調査官
平成16年 5月	行政管理局副管理官
平成18年 7月	行政評価局評価監視調査官
平成20年 3月	行政評価局総括評価監視調査官
平成21年 7月	行政評価局調査官
平成23年 4月	行政評価局総務課評価監視企画官
平成26年 4月	現職

行政評価局総務課
地方業務室長
高橋 巧

その先の“達成感”へ。

仕事内容

活気ある現場に

「行政評価局調査」には大別して2パターンあります。本省の企画・立案による「全国計画調査」と管区局・事務所による「地域計画調査」です。私が担当する地方業務室は、後者の実施や結果に関し、本省と局・所との間の連絡調整や、局・所への支援・助言などを実施しています。言わば、「架け橋」的な存在ということでしょうか。

また、各府省担当室と同様に、「全国計画調査」も実施しています。現在は、国の行政機関において、災害対応のための備蓄が十分なものとなっているのか、帰宅困難者対策はどうなっているのかなどについて、13局・所ともども調査を実施しています。

このため、うちの室員たちは、地域計画調査関係の業務に携わりつつ全国計画調査も行うという、(実に?)活気ある現場にいるということです(“人使い荒いなあ～”という声が聞こえない振りをしつつ?)、私は、マネジメントをしているということあります。)

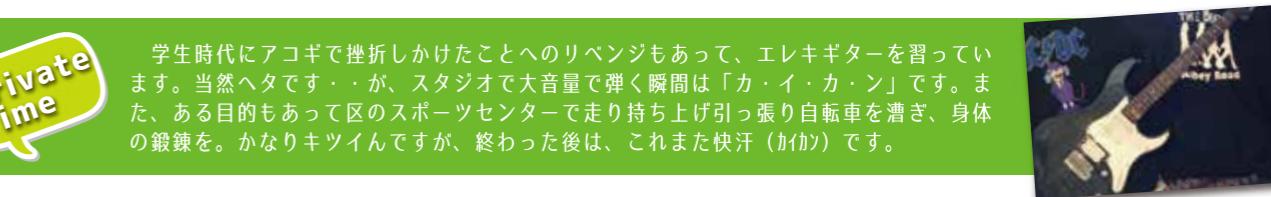
総務省について新規採用者へ伝えたいこと

実は私は(も)

「はい。明日の10時から面接ということですね。伺います。」通話を終えてから考えました。「行政管理局って何するところ?」即座に「現代用語の○○○」を手を取り、面接に向けた「俄か勉強」を始めました。私と我が職場との初めての出会いとは、そんなものでした。そして「10年」勤務し続けています。この間、ツライこと、出勤拒否になりそうなことなど平坦ではないこともかなり経験してきました。それでも、仕事をやめなかったのは一体なぜだろう?と考えることがあります。周囲の人たちに恵まれたことはもとより、一つには、「達成感」を覚えてしまったからでしょう。一つの調査テーマに関し、あれこれ勉強し、「事件は現場で起こっているんだ」と肝に銘じ調査に行き、相手府省との様々な議論、職場での議論・検討、試行錯誤し書き上げる報告書、これが印刷物となり、マスコミに採り上げられ、改善につながり…。そのときの「達成感」。あなたも味わいたいと思いません?

とある一週間

- 月曜日 今週は「ファイト!」を聞きつつ出勤。局幹部会出席。今週の予定確認
- 火曜日 室員全員本省調査。一人留守番
- 水曜日 局内の某検討会出席。「定期退庁」を室員に促した後に都内某所の暗闇へ
- 木曜日 省内幹部に調査結果を説明。某省知人を訪問し情報収集、雑談兼議論
- 金曜日 福岡日帰り出張(九州管区局懇談会講師)。「OCEAN」を聞きつつ週末へ



統計局統計調査部経済統計課研究分析係長 井岡 貴司

**PROFILE**

平成13年 4月 総務省採用
平成14年 4月 統計センター管理部管理課総務係
平成15年 10月 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第一係
平成17年 8月 総合通信基盤局電波部電波環境課
平成18年 10月 統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室指導係
平成20年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課情報企画係
平成22年 1月 統計局統計調査部経済基本構造統計課研究分析係長
平成22年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課調整係長
併任 統計局統計調査部経済基本構造統計課研究分析係長
内閣府青年交流第3担当主査（政策統括官（共生社会政策担当）付）
併任 参事官（青年国際交流担当）付
併任 子ども若者・子育て施策総合推進室室長
平成23年 4月 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第一係長
併任 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第二係長（～平成23年6月）
現職 平成26年 4月

Takashi Ioka

幅広い業務が待っています。

仕事内容

サービス産業を掴む

私が所属する経済統計課では、全産業分野における企業等の経済活動の実態を把握する「経済センサス・活動調査」やサービス産業の生産・雇用等の動向を把握する「サービス産業動向調査」などの統計調査を実施しています。

その中で私は、主にサービス産業に関する統計の研究業務を担当しています。飲食店や宿泊業などのサービス産業は、経済のサービス化に伴い、GDP及び雇用全体の約7割を占める大変重要な産業になっています。そのため、サービス産業の実態をより多角的に捉えることが求められており、その具体的な把握方法を研究しています。

なお、経済のサービス化は国際的なトレンドでもあります。そのため、諸外国の統計機関においても同様の研究を行っており、年1回、サービス産業統計に関する国連の国際会議が開催され、私たち日本を含む数十か国の統計担当者が知見を共有しながら、世界共通のベストプラクティスを探求しているところです。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広いフィールドをカバーする

私は入省以来、主に統計局で統計調査の企画実施部門を担当し、途中で電波行政や内閣府での国際業務なども経験してきました。本稿では、統計局における幅広い業務について御紹介します。

統計局は、「国勢調査」や「経済センサス」などの国的重要な統計調査を実施する政府統計の中核的な機関です。

「急速な少子高齢社会の到来」、「未婚率の上昇」、「非正規雇用者の増加」、「完全失業率の推移」、「消費者物価指数の推移」、「ワーク・ライフ・バランスの推進」といった今の日本を取り巻くキーワードが日々、ニュース等で報じられていますが、これらの根拠となるデータは、統計局が提供しているものです。

人口、世帯、労働、経済、社会生活など日本の社会経済全般の幅広い課題や動向を踏まえ、その道標となるデータを正確に把握し、適時に提供する仕事は幅広く必要不可欠なものです。

皆さんも私たちと一緒にこのような幅広いフィールドで活躍してみませんか。

Private Time

小学生の子供が二人いますので、休みの日はやっぱり家族で過ごすことが多く、子供たちと一緒にジョギングやクッキングを楽しんでいます。また、数年前に内閣府でASEAN関連の仕事をして以来、東南アジア諸国の言語、文化、料理などに興味を持っています。子育てが落ち着いたら真剣に勉強したいと思っています。

とある一週間

月曜日

海外からレポートの作成依頼。
毎度のこと専門英語が多い。

火曜日

課内で研究業務の中間報告。
様々なアイディアをいただく。

水曜日

定時退庁日。
残業しないで早々に退庁。
友人と飲み会です。

木曜日

サービス産業に関する産学官の協議会に随行。

金曜日

次週の係の業務計画を作成。
1週間があつという間です。

**PROFILE****Rumiko Yamaguchi**

平成19年4月 総務省採用
平成21年4月 統計局統計調査部消費統計課審査発表係
平成22年8月 大臣官房秘書課
統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第二係
併任 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室解析提供係
（～平成25年3月）
現職 平成26年4月

統計局統計調査部消費統計課 統計専門職

山口 瑞美子

統計で日本の未来図を描く

仕事内容

家計調査の企画の仕事とは？

私は消費統計課で家計調査の企画・実施を担当しています。業務内容は大きく分けて、①社会により有益な情報（調査結果）を提供するため、調査内容や手法を検討する企画業務、②毎月の調査を適切に実施するため、47都道府県の担当職員と連携を密に取りながら、指導やサポートを行う業務、の二つがあります。

家計調査は、昭和21年の開始以来、今日まで一日も欠かさず、世帯の収入や消費支出などを調べている調査です。その結果は、社会情勢や日本の経済成長などの家計への影響を、つぶさに、客観的に捉えた指標として毎月公表されています。

長い歴史あるこの調査が、今後も正確かつ信頼できるもので在り続けるため、過去からの継続性や結果の精度を維持してゆかなければならぬ一方、時代の流れに柔軟に対応していくことも求められます。最近では、スマートフォンからでも調査に回答できるよう、オンライン調査システムの導入の検討も行っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

統計を通じて国・地方の将来を支える！

統計調査の結果は、官民を問わず社会で幅広く活用されています。例えば、昨年の8→10%への消費増税の延期は、皆さんの記憶に新しいと思いますが、その判断材料の一つに家計調査の結果が用いられたことは、特に印象深い出来事です。このような影響を目の当たりにし、微力ながらも日本の将来を形作る一翼を担っているという責任・やりがいを感じています。

「統計業務」と聞くと、学者のような専門知識を必要とする業務に思われるかもしれません。確かに、業務によっては必要となる場合もありますが、入省後のOJTや研修で身に付けることが可能です。文系の私自身、入省前の統計知識はゼロに等しいものでした。

「統計業務」は、調査結果を通じ、間接的であれ中立的な立場から、国や地方自治体における様々な政策の立案・決定に携わっていると言えます。統計を通じて社会に貢献したいという意志をお持ちの方と一緒に働くことを楽しみにしています。

Private Time デスクワーク中心の業務のため、週末はジムに通って平日の運動不足を解消するようにしています。最近は、ヨガやピラティスに夢中です。深い呼吸をしながら頭を空っぽにしてレッスンを受けた後は、気持ちがすっきりします。また、肩こりなどの悩みも改善されてきました。心身ともにリフレッシュできるところが魅力です。

とある一週間

月曜日

都道府県職員からの調査実施に関する問い合わせへの対応。調査は、毎月の公表に合わせたタイトなスケジュールのため、迅速な回答が求められます。

火曜日

金曜日に神奈川県で行われる会議での講演の準備。原稿やスケジュールの最終確認を行います。

水曜日

都道府県へ交付する来年度の委託費の算出。都道府県での家計調査業務が円滑に遂行されるよう、予算配分を行います。

木曜日

オンライン調査システムの開発について、統計情報システム課職員を交えて、システム業者と打合せ。

金曜日

神奈川県に出張。統計調査員のための合同指導会において、家計調査の利活用事例について講演。





PROFILE

Maki Arakaki

平成21年10月 総務省採用
統計局統計調査部消費統計課企画指導第一係
平成24年3月 大臣官房企画課企画調査第二係
平成26年4月 現職

**政策統括官(統計基準担当)付
国際統計管理官付**
新垣 真輝

Better Data. Better Lives. を目指して

仕事内容

よりよい統計のための国際協力

人や物がグローバルに動く世界では、国際的な視点で政策を考える必要があり、そのための統計が、国際機関によって作成されています。これらの統計が十分にその役割を果たすためには、各国及び国際機関間の協力と、各の統計を比較するための国際的な基準作りが重要です。私は、今、国際統計管理官室で、政府横断的な統計を国際機関に提供し、国際基準を策定するための取組に携わっています。

当室の業務の醍醐味は、統計に関する最新手法から、途上国の統計開発における課題まで、幅広いテーマに関する議論をフォローできることです。同時に、グローバルな議論に乗り遅れないよう、限られた時間で、しかも英語で情報を集め、各省と協議し、我が国として最善の対応を検討することは容易ではなく、日々、勉強すべきことが尽きません。

今年は、国連の定める世界統計の日に向けた取組も予定されており、ますます気合いが入ります。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

統計=大きな絵を描くための仕事

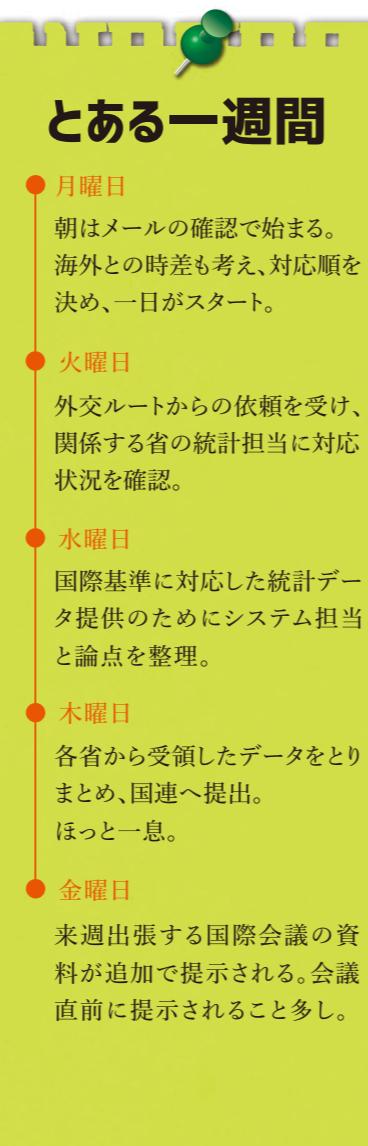
統計作成は数字と格闘するだけの仕事と思っていませんか？大先輩曰く「統計は社会の姿を捉えるものだが、そのために我々は社会を見て統計を作らなければならない」。統計作成のプロフェッショナルになるためには、専門を深める以外にも、社会を見て、統計作成の多岐にわたる過程（調査の企画、実施、データ集計、審査、公表）を見通す力を磨くことが求められます。

総務省には、プロフェッショナルになることを後押しする、統計の作成手法からICTを利用した統計の活用方法まで様々な研修に参加し専門を深める機会や、地方又は海外で行われる会議に参加し視野を広げる機会があります。関心次第で、自分の世界が広がる面白さを感じられる仕事が、あなたを待っています。

どう組織に貢献するかは、あなたの関心次第ですが、国の実態を把握し様々な政策の効果を計る統計で、我が国が大きな絵を描くために、よりよい統計データ、よりよい暮らしを目指して、共に総務省で働きませんか？

Private Time

当省の統計部隊の多くは、新宿の若松庁舎で勤務しています。天気の良い日のランチは、山手線の内側で一番高いという箱根山のある戸山公園でピクニックしたり、迷路のような住宅街を抜けて、お気に入りのお店に行くこともできます。
(本稿の写真は、ランチメイトでカメラが趣味の先輩が撮影して下さったものです。)



藤田 浩輔

行政評価局評価監視官付

Kosuke Fujita

平成23年4月 総務省採用
中部管区行政評価局
平成24年4月 行政評価局行政相談課行政相談業務室
平成25年4月 行政評価局総務課
平成26年4月 現職

先輩の一目

密着！若手評価マンの一日

10:30AM

調査内容の検討

各省庁に対する調査に向けて、室内で打ち合わせ。収集した情報などから問題点を予想し、その問題点を検証するための調査内容を検討します。限られた時間で効果的な調査を行うために事前の準備がカギとなります。



12:00PM

ランチ

今日は近くの庁舎の食堂で職場の同僚とランチ。おいしいご飯をおなかいっぱい食べて、午後からのエネルギーを補給。気持ちを新たに午後からも頑張ります！！



9:30AM

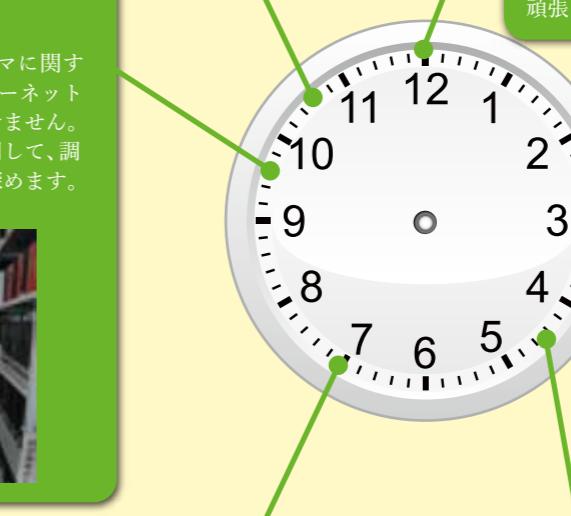
情報収集

出勤したらまず調査テーマに関する情報収集。新聞やインターネットの記事のチェックは欠かせません。今日は省内の図書館を活用して、調査テーマについて知識を深めます。



19:00PM

リフレッシュ



ひとことメッセージ

今、私は国の行政の問題点を把握し、必要な改善を求める「行政評価」という仕事に携わっています。正しい「評価」をするためには、さまざまな人の知恵や知識、多くの経験が必要です。上司や先輩と一緒に悩み、知恵を出し合しながら、国民のニーズを満たす改善策を考え出すことがこの仕事のおもしろさだと思います。

みなさんの知恵やこれまでの経験をぜひ総務省でよりよい行政の実現のために生かしてみませんか？

16:30PM

上司への説明

調査の結果や進捗状況などを上司に説明。調査結果をわかりやすく整理し、分析しておくことが重要です。調査結果を踏まえて、必要な改善策や今後の調査の方向を検討します。



■ PROFILE **Takahiro Fukutomi**

平成22年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成23年 4月 自治財政局交付税課
10月 群馬県総務部市町村課
平成25年 4月 群馬県産業経済部観光局観光物産課
10月 自治行政局選挙部政治資金課収支公開室
平成27年 1月 現職

自治行政局行政課
福富 貴大

多様な経験×多様な交流 =無限の可能性

仕事内容

よりよい地方自治の姿を目指して

私が所属する自治行政局行政課では、地方行政の運営に関する制度の企画立案や地方行政の総合的な調整等、地方自治の根幹に関わる業務を行っています。具体的には、地方自治に関する基幹的な事項を定めた地方自治法の解釈等を通じ、地方行政が円滑に運営されるよう取り組んでいます。

また、我が国の人囗は今後急速に減少するとと言われており、約50年後には人口が8,700万人程度になるという推計もあります。この様なかつて経験したことがない急激な人口減少により、人口分布の極端な不均衡化や行政サービスの低下等が懸念されています。

人口減少社会に的確に対応するための三大都市圏及び地方圏の行政体制のあり方とはどうあるべきか。行政課では、こうした今後の地方行政のあり方についても検討をしており、日々熱い議論が繰り返されています。

地方行政の現場で起こる身近な問題から将来の国家的な問題まで、今日も幅広いテーマに全力で取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

可能性を引き出す環境

総務省に入省してから早くも5年が過ぎようとしています。この5年という期間を少し振り返ってみるだけでも、人件費予算に係る財務省との折衝業務、総額約17兆円の地方交付税の算定業務、群馬県への出向、政治資金収支報告書の公表業務、そして地方自治制度の運営業務と、多岐に渡る業務経験の機会を与えていただいており、総務省の業務の幅広さを肌で実感しています。

また、総務省は自治体との交流も盛んであり、上述のとおり、私も2年間群馬県でお世話になりました。一方、総務省へも全国の自治体から出向されている方が多くおり、総務省にいながらも様々な地方の「想い」を感じることができます。

このように多様な経験と交流の機会があることは、総務省の大きな特徴だと思います。総務省には様々な個性と魅力を持った職員の方が多くおりますが、それはこのような環境だからこそだと思います。ここには無限の可能性を引き出してくれる環境があります。

Private Time

私はとにかくじっとしていられないタイプであり、暇を見つけてはどこかに出かけています。春・秋は登山、夏は海にキャンプ、冬はスノーボードと四季折々のアウトドアを楽しんだり、年中通して旅行や温泉巡りをしています。そのため、財布の中は若干寂しく（名前は福富ですが…）なっていますが、心身の方はリフレッシュされ、仕事への原動力となっています。

■ PROFILE **Shizuko Hara**

平成12年 4月 自治省採用
大臣官房国際室
平成13年 1月 総務省自治行政局自治政策課国際室
群馬県環境生活部自然環境課
平成14年 4月 群馬県総務部国際課
平成15年 4月 地方公務員災害補償基金補償課
平成16年 4月 地方公務員災害補償基金総務課予算係長
平成20年 4月 自治体国際化協会総務部企画課主査
平成21年 4月 兼 総務課主査
平成25年 4月 総務省自治行政局選挙部政治資金課
支出情報開示室主査
平成26年 4月 現職

**自治行政局公務員部公務員課
給与能率推進室定員管理係長**
原 志津子

社会が変わること を感じませんか？

仕事内容

職員数が語る社会の姿と時代の流れ

全国の地方公務員の数が現在どれくらいか、皆さんはご存じですか？平成26年4月現在で、約274万人。1年前と比較すると約9千人減少しました。私が担当する定員管理調査で、昭和50年からずっと調査しています。これを数字だけ眺めていても、特に楽しくも何ともありません。けれど、消防、福祉、教育といった分野別に増減の変遷とその背景となつた制度改正や社会事情などを細かく見ていくと、その時々に地方行政が果たした役割が見えてきます。まるで、グラフから、ある時代の光景が浮かんでくるかのようで、今自分が扱っている数字も、社会の有り様を語る大事なパートだと思うと、時代の歩みの中にいることを実感します。今、地方財政が厳しい中、各自治体は、豊かな社会を創るために、様々な工夫をしながら必要な行政サービスを提供できる体制を整えています。数から俯瞰しつつ、そのお手伝いをする、そんな地方行政への携わり方もあります。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

多様性を受容し、変革を楽しめますか？

「働く」とは、ただ仕事をするということだけでなく、仕事を通じて得られる人間関係も含め、豊かに生きる術を得ることです。総務省人生では、人事交流で自治体の方々と机を並べて仕事をするのが常です。この15年間で、本当に貴重な出会いがあり、今も公私にわたり関係が続いていることは何よりの財産と思っています。

もう一つ、豊かに生きる術に、ワークライフバランスの充実があります。総務省でも急務の課題となっており、私自身も、小学5年生の息子を育てながら、スーパーイクメン夫の支えを軸に、上司・同僚、親兄妹、ご近所ママ達といろんな人に助けられながら、毎日試行錯誤の真っ只中です。ワークライフバランスの実践は、官民間わざ日本全国でいろんな取組が進んでいますが、総務省でも今まさに変革の真っ只中です。鍵は多様性と変革を楽しめる気概です。霞ヶ関で、前例や慣習に捉われず、その実践者になりたい！という志のある方、お待ちしています。

昨年から、スカッシュを習い始めました。子供が習い始めたのをきっかけに、夫婦でもスクールに通い始めました。どんなに疲れていても、週末に、スカッシュで汗を流すと、すっきり爽快。息子にも夫にも負けられないぞ、と思うとやる気も楽しみも増えます。

とある一週間

- 月曜日
月曜日恒例の課内打合せ。予定を確認し、今週も熱い一週間が始まります。
- 火曜日
議員事務所からの説明要求。参考になりそうな資料を調製し、上司と一緒に議員会館へ。
- 水曜日
第31次地方制度調査会の専門小委員会に出席。地方制度に関する最先端の議論を肌で感じます。
- 木曜日
翌日の国会における、総務大臣答弁に関する資料の作成。早さと正確さを心がけます。
- 金曜日
待ちに待った金曜日！法令協議に関する勉強会の後、職場の同僚と夜の街へ。



とある一週間

- 月曜日
定員管理調査のとりまとめ方法効率化のため、改善策を係内で話し合って整理。来年に活かします。
- 火曜日
国会質問への対応発生。チームワークで一気に答弁作成作業を進めます。
- 水曜日
定員管理調査のデータ分析。視点を変えてデータを見ていくと、また新たな発見があります。
- 木曜日
本日はテレワーク勤務。家で一人静かに業務に没頭です。勤務時間終了と同時に息子と一緒に習い事へ。
- 金曜日
定員データの分析結果をわかりやすく資料にまとめ、補佐・室長と協議。議論が勉強になります。



■ PROFILE Masaya Hiramoto

平成13年10月 総務省採用
自治行政局選挙部管理課
平成15年 4月 石川県総務部地方課
平成17年 4月 大臣官房会計課
平成19年 4月 公営企業金融公庫管理調査部管理課管理第一係長
平成20年10月 地方公営企業等金融機関融資部審査室主査 兼
融資部融資管理課管理係長
平成21年 6月 地方公共団体金融機関融資部審査室主査 兼
融資部融資管理課管理係長
平成22年 4月 自治行政局行政課行政第四係長
平成24年 4月 大臣官房総務課審査・調整第二係長 併任
大臣官房企画課政策室員
平成26年 4月 現職

自治財政局財務調査課財務調査係長
平本 勝也

■ PROFILE Yohei Nishiwaki

平成15年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
併任 自治財政局財政課管理審査専門官付
自治財政局財政課
鹿児島県総務部地方課
平成17年 4月 鹿児島県総務部市町村課
平成18年 4月 自治税務局固定資産税課資産評価室
平成19年 4月 大臣官房政策評議広報課評議専門職
自治税務局固定資産税課
資産評議室家屋第一係長
平成21年 4月 自治税務局固定資産税課
資産評議室家屋第二係長
平成23年 4月 現職

自治税務局都道府県税課
法制係長
西脇 陽平

全国の友人とともに 地域を元気に

仕事内容

健全な地方財政運営への第一歩

今、地方財政を巡る状況は非常に厳しいと言われています。過去に借り入れた地方債の元利償還が大きな負担となっていることに加え、高齢化の進展により社会保障費は今後も増加し、更には公共施設の老朽化に伴う維持更新費用も今後の大きな財政需要となることが予想されています。一方で、人口減少により今後大幅な税収増も見込めない状況にあります。こうした中で、今後の地方財政の運営に当たっては、限られた財源をいかに有効に、賢く使うかを考えいかなければなりません。

私が主に担当している業務は、地方財政の現状を把握することです。具体的には、各地方公共団体の財政担当者から、予算・決算を通じた財政状況等についてヒアリングを行っています。このヒアリングを通じて、地方公共団体で今どのような財政需要が生じているのか、今後どのような財政課題が見込まれるのかを正確かつ具体的に把握することが地方財政の健全な運営を考えるために第一歩だと思って取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

経験を通じて成長できる職場

地方自治制度を考えるに当たっては、地方自治の現場のことを知らなければなりません。総務省では、入省して本省での勤務を経験した後、地方公共団体に出向し、若手職員として地方自治の現場の経験を積ませてもらえる機会があります。私も、石川県庁で2年間お世話になりました。災害の査定で現地に赴くために雪降る山の中を歩いたことはいい思い出ですし、県内市町村の合併に向けた取組では合併と言う目標に向かって県・市町村の皆さんと一緒に努力したことなど貴重な経験を数多く積ませていただきました。

こうした経験があったからこそ、総務省に戻ってきてから、我が国全体にわたる地方自治制度の枠組について考えるに当たり、地方自治の現場を具体的にイメージしながら考えることが出来ました。また、国からの立場だけではなく、地方の立場になって考えることもできるようになったと感じています。

総務省は、日本全体の枠組を考えながら、東京にいるだけでは味わえない地方自治の現場を経験することで自分を大きく成長させることのできる魅力的な職場だと思います。



休日は、野球観戦。地元の球場で、応援しているチームの試合があるときは、勝利を信じて応援に行きます。残念ながらあまり勝つことはありませんが、だからこそ、たまに勝ったときの勝利の喜びは格別です。いつの日か優勝する日を信じて、これからも応援に行きます。

とある一週間

- 月曜日**
今週の予定について課内で共有。地方公共団体から財政事情についてヒアリング
- 火曜日**
昨日に続き、終日、地方公共団体から財政事情についてヒアリング
- 水曜日**
ヒアリングの結果を取りまとめて分析
- 木曜日**
前日に続きヒアリング結果の分析。地方公共団体からの問い合わせに対応。
- 金曜日**
分析結果等について上司に説明。一段落落したので関係者で打ち上げへ。



「税」を通じて、できること

仕事内容

奥の深い税の世界

みなさん、税金をいくつ知っていますか？私が学生の頃は消費税くらいしか知らない気がします。消費税といえば税率は8%ですね。この8%は、国が課税する分（消費税）と都道府県が課税する分（地方消費税）の税率の合計です。国が課税するものは国税、都道府県や市町村が課税するものは地方税と分類されます。自治税務局では、この地方税の基本的な制度設計を行っています。私が所属する都道府県税課では、都道府県が課税する税を担当しています。

税は社会や経済、国民生活に密接に関連します。制度設計に当たっては、教育や福祉、消防等生活に密着したサービスを提供する自治体の税収に与える影響及び社会・経済に与える影響の把握、諸外国の税制との比較などの大きな話から、個々の納税者の負担がどうなるかなどの個別的な話まで、非常に幅広く奥の深い検討を行います。そこで得られる経験や知識は必ず皆さんの好奇心を満たしてくれると思います。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

地元、好きですか？

地方自治に興味がある方は、地元を元気にしたい、地元が元気になるための役に立ちたいと考えている方が多いのではないでしょうか。総務省にはそんな熱い想いを持っている人が集まっています。そして、自分の地元だけではなく、日本全国のみんなの地元を元気にしたいと考えている人がたくさんいます。都道府県や市町村が地域の活性化や地域の実情に応じた行政を行うために欠くことのできない、どの自治体にも共通する行政、財政、税制といった基本的な制度や法令を所管している総務省は、そんな思いを実現できる大きな可能性がある職場です。例えば、自治税務局では、地方税の充実を図ることで、自治体が自由に使える財源を増やし、国に縛られない独自の地域活性化策を進める手助けができます。これは総務省でしかできないことです。あなたの地元への思いを総務省で実現してみませんか？



週末は家族団らんです。平日だと帰宅しても子どもは既に寝ているため、家族でゆっくり会話できるのは週末くらい。子どもから保育園の話を聞いたり、みんなで外出したり、家族の時間を過ごしています。子どもの成長を実感した時は、嬉しい反面、そんなに早く成長しなくとも…と寂しさが入り交じった複雑な気持ちになります。

とある一週間

- 月曜日**
上司から指示のあった資料作成のため、都道府県や関係省庁に問い合わせます。
- 火曜日**
国会での質問への対応。集中して必要な資料の作成にとりかかります。
- 水曜日**
月曜に作成した資料をもとに課内で検討。指摘を踏まえ資料を修正します。
- 木曜日**
国会議員事務所からの問合せに対応。間違いがあつてはいけないので慎重に。
- 金曜日**
担当業務の懸案事項を検討。上司に説明するため分かりやすい資料作成を心がけます。



■ PROFILE

Toshihiro Hara

平成19年 4月 総務省採用
自治行政局行政課総務室

平成20年 4月 自治財政局公企課地域企業経営企画室
10月 奈良県商工労働部工業支援課

平成21年 4月 奈良県商工労働部産業支援課

平成22年 4月 奈良県産業・雇用振興部産業支援課
10月 自治税局固定資産税課資産評価室

平成25年 4月 現職

消防庁国民保護・防災部 防災課応急対策室応急対策第一係長

原 敏博

全国の仲間とともに。

仕事内容

霞が関からの災害対応

私は今、総務省消防庁に勤務しています。総務省で消防？といつてもイメージしにくいかもしれません、私が主に担当しているのは、地震や台風、噴火といった自然災害への応急対応です。災害発生の連絡を受けると、ただちに消防庁の危機管理センターに参集し、災害対策本部を設置して都道府県や消防機関から情報収集を行います。また、被災地だけでは対処できない規模の災害の場合は、他の都道府県からの応援部隊である「緊急消防援助隊」の出動を要請します。昨年は、広島市の土砂災害や御嶽山の噴火災害などの際に出動しました。発災時にまず重要なことは、被害規模を的確に把握することですが、様々な情報が錯そうする中の情報収集は、想像よりはるかに難しく、冷静さと瞬時の判断力が求められる業務です。災害発生直後は何ともいえない緊張感が走りますが、全職員が「一人でも多くの命を救う」という一つの方向を向いて業務を行う、一体感のある職場です。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

全国各地に広がるネットワーク

さて、総務省では、国家公務員採用の職員の他に、全国各地の都道府県や市町村から出向している多くの方々と共に仕事をしています。特に、消防庁では、実際に災害現場で活動していた消防士の皆さんと机を並べています。これまで消防とは何の関わりも無かった私にとって、現場出動の際の話など、消防の世界の話は非常に新鮮で面白く、日々刺激を受けています。また、これまでの部署で一緒に仕事をした方々とは、今でもそれぞれの地元に集まったり、東京出張に来た際に飲みに行ったりと、交流が続いている。一時期を同じ目的に向け汗を流した仲間とは、久しぶりにあっても話題が絶えません。このように、霞が関にいながら全国各地にネットワークができるのは、地方行政を所管する総務省ならではの魅力だと思います。全国の仲間と、地方のために、一緒に仕事をしてみませんか！

Private Time

平日はどうしても家と職場の往復になってしまうので、土日はなるべく外に出るようにしています。といっても、何か決まった趣味があるわけでもなく、ふらふら街を散歩したり、買い物に行ったり、美味しいものを食べにいったり、うまい酒を飲みに行ったり、たまには温泉などに旅行に行ったり、といった感じです。



Toshihiro Hara

伊藤 大智

自治財政局交付税課

先輩の一日

地方交付税17兆円 ～交付決定の1日～

■ PROFILE

Daichi Ito

平成25年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成26年 4月 現職

10:00AM

通知の配付へ



8:30AM

朝、国会議事堂へ



19:00PM

お疲れ様でした！



一日の仕事を終えて、課内の皆さんと飲みに行きます。仕事のことは一旦忘れてリフレッシュ！明日も元気に頑張ります！

ひとことメッセージ

いま私が携わっている地方交付税は、総額なんと17兆円！地方財政のスケールの大きさに、責任の重さとやりがいを感じ仕事をしています。総務省では若手であっても、交付税の費用を担当するなど重要な業務を担います。私が総務省を希望した決め手は、このやりがいのある業務内容だけでなく、地方を愛する熱い職員がたくさんいる職場の雰囲気もあります。ぜひ、説明会に参加して、この熱い職員に会ってみて下さい！

12:00PM

ランチ



14:00PM

報道発表

事前に準備しておいた報道資料が、ホームページできちんと公表されていることを確認。報道発表に関する問い合わせに対応します。



16:00PM

緊張のご説明

担当している交付税費目「港湾費」について、今後の対応方法を課長へご説明。入省2年目でも、直接課長に説明する機会があります。緊張しますが、自分が交付税を作り上げていく一員になっていることを実感。





■ PROFILE Satoshi Nakamura

平成21年 4月 総務省採用
平成23年 7月 情報通信基盤局電波部移動通信課
平成24年 8月 情報通信国際戦略局宇宙通信政策課
研究推進室
平成25年 7月 現職

情報通信国際戦略局 国際協力課 中村 聰史

国際業務の経験を積む

仕事内容

ICT分野における国際業務

私が所属する国際協力課では、アジア地域をはじめ、中東地域、アフリカ地域において、我が国が強みを持つICTによる社会課題の解決に取り組むとともに、我が国のICTシステムの各国のニーズを踏まえた海外展開の促進を図っています。その中で私は中央アジア、中東、アフリカと非常に広い地域を担当しています。

主な業務は、各國が持つ課題に対して、我が国のICTを活用することで解決できないか検討し、ICTの導入可能性について調査・実証実験を実施しています。また、外国政府機関等に日本の技術を紹介するセミナーの開催や、ICT分野の国際協力の強化のため省幹部と先方政府要人との会談のアレンジ等を行っています。これらを円滑に進めるため、在外公館の協力を得つつ、民間企業や外務省等と緊密に連携をとりながら日々、業務に取組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

責任とやりがい

私が入省して最初に担当した業務は、次世代の移動通信システムの国際標準化等に関するものでした。業務上、専門的な知識の修得は必須でしたが、何より苦労したことは語学（英語）でした。入省2年目には、ジュネーブで開催された国際電気通信連合（国連の専門機関）の国際会議に出席する機会があり、ICT分野を所掌する各国の政府関係者が集まり、無線通信に関する国際的規則や無線通信の技術・運用等に関する議論を行いました。日本の代表として出席する会議ですので責任を感じますが、総務省では若手職員でもこのような貴重な経験を積むことができます。

つい先日、この移動通信システムを導入した商用サービスが開始されるニュースを見たとき大変嬉しく思いました。総務省が所掌するICT分野は他分野の技術と比べ進歩が早いため、自分自身が携わったものが世の中に出るまでの期間は短く、やりがいを感じやすいのではないかと思います。



職場の登山仲間と一緒に、日本百名山を制覇すべく季節を問わず登山をしています。時には金曜日業務終了後に山に向い、土曜日の日の出とともに登山を開始し、夕方にテントや山小屋でお酒を飲みながら談笑します。山頂から景色は最高ですし、草木の香り、鳥のさえずりは日頃の疲れを癒やしてくれます。

とある一週間

- 月曜日 所属課のミーティングに出席し、今週一週間の業務内容を共有。
- 火曜日 アフリカ政府要人の来訪に関する幹部等への説明資料を作成。
- 水曜日 アフリカでのICT関連の調査実施に関して、在外公館等と調整。
- 木曜日 中央アジアで実施中の実証実験に関して、今後の対応方針を検討。
- 金曜日 アフリカ政府要人の来訪対応及び視察先への同行。



■ PROFILE Akio Yamamoto

平成18年 4月 総務省採用
平成18年 8月 情報通信政策局技術政策課
平成20年 7月 総合通信基盤局国際政策課
平成23年 9月 情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成24年 1月 情報通信経済室
平成24年 4月 東北総合通信局
平成24年 8月 東日本大震災復興対策支援室（併任）
現職

情報流通行政局 情報流通振興課主査 山本 明央



ICT利活用で元気な日本を

仕事内容

くらしをもっと便利に、もっと豊かに

現在、ICTは私たちの生活に欠かせない存在となっています。例えば、スマートフォンで、日々友人とやりとりし、コンテンツを始めとする様々なサービスをいつでも、どこでも手に入れることができます。個人の利用は進展しています。一方で、ICTを更に有効に利活用することで、暮らしがもっと便利に、もっと豊かになる分野がまだあります。

所属する情報流通振興課は、このような問題意識のもと、地方創生、少子高齢化を始めとする諸課題解決に貢献すべく、ICT利活用に関する企画・立案を行っており、その中で、私は主に関係部署との調整やとりまとめの業務にあたっています。

調整、とりまとめは一言で言えば、各担当に対応をお願いする「お願い」の仕事です。急に作業を依頼することもあります。時として担当の方にある程度我慢してもらわなければならぬこともあります。その中で、職員が目指す政策目標にどうすれば近づくのか日々腐心しています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

多くの出会いと自由闊達な雰囲気

入省して10年目に突入し、これまで、国際関係部署、総合通信局など、様々な職場で働く機会をいただきました。インターネットは世界中とつながっているため、情報通信に関わるプレイヤーは多岐にわたり、本当に多くの方々とのやりとりがあります。また、研究会の事務をしていたときには、学生時代に著書を読んで感動した有識者にお会いすることもできました。国内外、産学官の方々との出会いを通じて絶えず新しい刺激があることが、総務省の情報通信行政に携わる魅力の1つです。

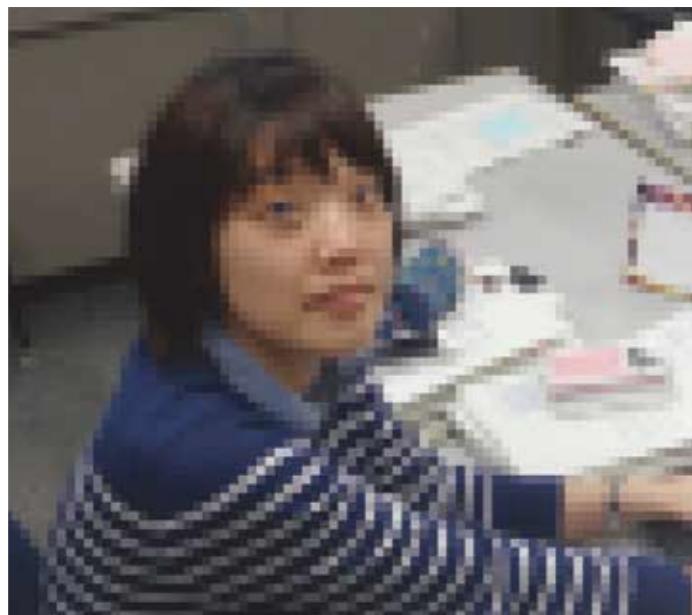
現在の部署では、特に外部の方と接する機会が多く、そのためか非常に風通しがよく、自由闊達な雰囲気の中で働いています。時々刻々と新技術、新サービスが登場するICTの分野では、若手職員が最も詳しい内容もあり、自分が世界一の専門家との自負を持って、上司とも積極的に議論し、時代に即した施策の実現に向けて業務にあたることができるのも大きな魅力です。

週末は、家族で過ごします。やんちゃ盛りの息子は乗り物が好きで、電車、飛行機、自動車何でも大好きです。最近は息子の強いリクエストから鉄道模型で遊んでいますが、段々と要求水準が上がっており完成まで2時間以上かかります。先週の日曜日はモノレールに乗って飛行機を見に羽田空港まで行きました。

とある一週間

- 月曜日 定例の課内ミーティング。他の担当者の業務進捗も欠かさず確認。
- 火曜日 翌日の会議準備。最終の微調整だけで済むのは部下のおかげです。
- 水曜日 会議当日。会場が省外なので久々に外に出てリフレッシュにも。
- 木曜日 調整に手間取っていた案件が無事完了。関係部署の協力に感謝。
- 金曜日 安心も束の間、新たな案件が。ダイナミズムとでも呼びましょう。





■ PROFILE

平成19年10月 総務省採用
郵政行政局企画課
平成20年 7月 情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室
平成22年 5月 情報通信国際戦略局国際経済課
平成24年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
平成26年 8月 現職

Yuko Endo

情報流通行政局 放送政策課国際係長 遠藤 祐子

ドキドキ、ワクワクする仕事

仕事内容

「放送」というもの的重要性

私は今、情報流通行政局放送政策課国際係長として働いています。ここでは海外の放送制度についての情報収集や、各国との連携協定に関する放送分野の交渉を行っています。

放送は国民生活に多大な影響を与える、とても重要なものです。

交渉する国との間で、自国で守りたいもの、相手国に売り込んでいきたいものが異なることもあります。交渉が難航することも多々あります。

交渉における「タイミング」はとても難しいものを感じており、タイミングを間違えればとたんに日本に不利になることもあります。放送に限らず「交渉」というものは、いわば、相手国との腹の探り合いと言えるかと思います。

また、研修などで外国からお客様が来ることもあり、日本の放送制度やお互いの問題意識等を意見交換し、それぞれの国との国際的連携を強化していく役割も担っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

4年に一度の大イベント

私が最初に配属された郵政行政部国際企画室では4年に一度の大きな会議に参加する機会に恵まれ、その大会議では「理事会」(加盟国から代表国を選んでその中で1年に2回ほど国際郵便等に関する会議を行います)を選ぶために選挙が行われることとなっています。

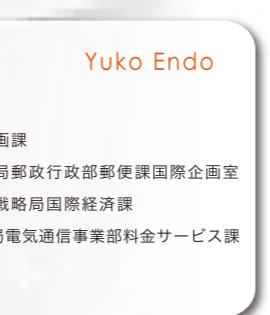
日本当選を目指して会議の前にも各国に働きかけてはいましたが、最後の仕上げということで日本出席者が分担して直接会議参加者に働きかけることになりました。もちろん新人の私は根回しなどしたことはなく、うまく伝えられるか不安でいっぱいでした。

なんとか自分の担当国に伝え、いざ選挙の時。私が働きかけた人たちは投票してくれたでしょうか。結果は・・見事日本が一位当選！

公務員の仕事というと、デスクに座って淡々と資料を作る、そんなイメージがあるかと思うのですが、こうして競い合ってハラハラ、ドキドキするお仕事もあるのです。

Private Time

学生の頃よりも働き始めてからよく旅行に行くようになりました。47都道府県全制覇を目指しており、全く踏み入れたことがない地域はあと3県となりました。また、最近は観光名所を巡る旅行に加え、早めに宿に到着してゆっくり温泉に入ることも多々あります（写真は群馬県四万温泉です）。



総合通信基盤局電気通信事業部 料金サービス課業務係長

中村 星紗

■ PROFILE

Seisa Nakamura

平成18年10月 総務省採用
情報通信政策局情報通信政策課
平成19年 7月 情報通信政策局総合政策課
平成20年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成22年 4月 総合通信基盤局電気通信事業部
事業政策課
平成24年 8月 現職

ICTの未来を想像して創造する

仕事内容

モバイル市場の活性化のために

スマートフォンなどに代表されるモバイル市場は、電波を保有して巨額な設備投資が必要であるため寡占市場になりがちですが、その特性を踏まえ、市場がうまく機能するよう競争環境を整備しているのが総務省の電気通信事業部です。

具体的に私が担当しているのは、「MVNOの参入促進」と「SIMロック解除の推進」です。前者は電波を借りてサービス提供する事業者(MVNO)の参入を促進するもので、様々なプレイヤーが競争することで新たな料金体系、新たなサービスが創出されることを期待しています。最近は「格安スマホ」の名で浸透してきました。後者は、これまで特定の通信事業者のもとでしか利用できなかった携帯電話端末を他社でも使えるようにガイドラインを改正するもので、利用者の選択肢が増えて乗り換えが活発になることにより事業者間のサービス競争が促進されることを期待しています。

今後実用化されるであろう新しいICTサービスを想像しながら、市場が最大限機能するような制度を創造する、そんなダイナミックな仕事に携わることで日々やりがいを感じています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

仕事と人の魅力

総務省の魅力は、最先端の分野でチャレンジングな課題に取り組めること、そんな課題を解決する柔軟な視点をもった魅力的な上司や同僚が多いことです。

情報通信の分野では日々新しい通信サービスが生まれていますが、総務省はそのようなサービスの利便性を損なわずに国民が安心・安全に利用できるようなルール作りに知恵を絞ったり、ICTを使った農業効率化や医療サービスの充実など国民生活をもっと便利にするツールとしてのICTの活用方法を考えたりしています。

このようなバランス感覚や先見性が求められる課題に取り組むのはとても面白く、柔軟な視点で導いてくれる上司や率直な意見をくれる同僚に支えられて様々な政策を検討しています。若手のころから意見が言える環境でのディスカッションはとても楽しく勉強になりますし、一つの解決策を導きだせたときには大きな達成感があります。みなさんもこの魅力的な環境でぜひ可能性を試してみませんか？

Private Time

休日は友人とランチしたり、スノーボードにいったりと 仕事が忙しくてもリフレッシュの時間を大切にしています。特に職場の同僚と一緒に始めたパン作りは、生地の手触りと焼きたてのふわふわ感に夢中です。おいしく作るためにパン屋を巡ったり、パンの検定を取得したり、楽しみながら学んでいます。



総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室システム企画係長
齋藤 加奈



新世代への展望

仕事内容

新たな無線システムの制度化

全てのモノとモノがインターネットに繋がり、機器同士が情報をやり取りすることで、我々の生活をより豊かにする——そんなちょっと近未来的な世界が、そう遠くないうちは実現されると考えられています。

さてそのような世界において、モノ同士のやり取りは無線で行われることになります。無線というと皆さんが思いつくのは携帯電話や無線LANでしょうか。実は他にも様々な分野で利用されていて、日夜新しい技術が研究されているのです。

私の所属する部署では、そんな新たな無線技術に関する研究開発や、新システムの制度化等に関する業務を行っています。内容は多岐にわたりますが、私はというと、高速無線通信を可能とするWiGigという無線LAN規格を我が国でも利用可能とするための制度改正を行っています。制度改正は様々な見地に立って考える必要があり、調整が難航することも頻繁ですが、未来の便利な生活の一助になればという思いを胸に、業務に向き合う毎日です。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

「進化」の体験

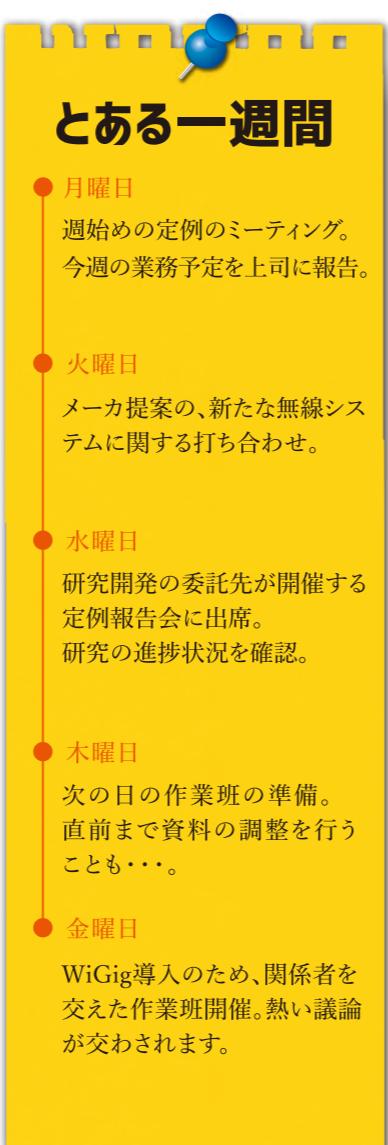
上述したように、情報通信技術というのは絶えず進化している分野です。我々も置いてきぼりを食らわないように、最先端の研究を行っているメーカや通信事業者、大学の先生等から様々なジャンルの最新動向についてお伺いしています。専門家の方々とお話をすることはとても勉強になり、かつ大変刺激的です。

また、新たな無線システムを導入することで、できなかったことができるようになり、その結果皆さんの生活が豊かになるということを目の当たりにできるのは、なかなか他では経験できないことだと思います。自分で制度化したシステムが、実際に製品として出ているのを見ると、その感慨もひとしおというものです。

以上、簡単にご紹介していましたが、これも総務省における業務のごくごく一部に過ぎません。総務省には多彩な業務があり、その中にはきっと皆さんの興味が惹かれるものがあることでしょう。ぜひ一度、総務省に足を運んでみませんか。

Private Time

美味しいものを食べるのが好きで、色々なお店の食べ歩きをしています。休日になると遠出することもしばしば。美味しいお店に会えると幸せな気分になります。またその行きがてら、街を散策するのがスムーズです。面白い建造物を見つけたり、季節の植物を見かけたりと、色々な発見をすることが多く、気分もリフレッシュします。



先輩の一目

情報通信国際戦略局
国際協力課

佐藤 多恵

PROFILE

Tae Sato

平成26年 4月 総務省採用
現職

国連防災世界会議の一目。

11:00AM

開会式



(前日) 14:00PM

会場下見

開会式会場、総務省展示の下見を行いました。国連の会議なので、開会式の席が国際会議のプロトコルに乗っ取り、アルファベット順になっているのには感動しました。会場は広いので、一通り歩いて動線を確認しました。



16:00PM

女性のリーダーシップに関する話し合い

安部総理が基調講演を行い、高市総務大臣が共同議長を務める話し合いでした。東日本大震災における防災に関連した女性の活躍の紹介や、各国の被災時における女性の活躍を紹介いただきました。



12:00PM

バイ会談

高市総務大臣とバスカル・クリバス万国郵便連合国際事務局次長のバイ会談を行いました。開会式終了後すぐに会談を行ったため、相手方に手渡す土産の準備や、お水の準備等を短時間でセットしました。



12:30PM

総務省展示観察

高市総務大臣を、総務省展示の視察にお連れしました。防災緊急警報等、防災に関する最先端技術の展示で、海外の方にも非常に興味を持って頂きました。



14:00PM

総務省主催ICTフォーラム

総務省主催のパブリックフォーラム「防災ICT技術の活用に向けた国際フォーラム」を行いました。ICTの活用を進める国際機関やNGO等の方々が防災の取り組みと将来の展望について議論しました。150人以上に参加いただき、成功裏に終えることが出来ました。



ひとことメッセージ

今回の会議は、グローバルな防災戦略について議論する国連主催の会議で、約10年に1度開催されています。私の所属する国際協力課では、防災分野におけるICTの世界的な活用促進も担当しているため、今回、会議に参加しました。入省前は、総務省が国際的な仕事をしていることすら知りませんでした。しかし、実際入省してみると、国際的な仕事は大変多く、海外出張もたくさんあります。英語を磨きたい方、国際的な仕事をしたい方にもおすすめです。



行政評価局評価監視官付
矢田 敦子

Atsuko Yata
平成 26 年度入省



統計局統計調査部
消費統計課家計消費状況調査係
高島 諒太

Ryota Takashima
平成 26 年度入省



自治行政局選挙部管理課
深野 竜太

Ryota Fukano
平成 25 年度入省



自治財政局公営企業課
田中 悠斗

Yuto Tanaka
平成 26 年度入省



情報流通行政局地域通信振興課
地方情報化推進室
岡野 善行

Yoshiyuki Okano
平成 25 年度入省



情報流通行政局
情報通信作品振興課
小島 早代

Sayo Ojima
平成 26 年度入省

■ 総務省を志望した理由

日本のために働きたくて…など志望理由はいくつもありますが、官庁訪問の際、職員の皆さんのからきらきとした姿を拝見し、この方たちと働きたい！と思ったことが一番の決め手でした。

■ 実際に働いた印象

上下、部署間の風通しが非常に良く、若手のうちから力を発揮できる職場だと感じています。先輩方からは、日々の会話を通して、知識だけでなく仕事に対する姿勢や取組方など、多くのことを学ばせていただいております。

■ 学生へのメッセージ

総務省の業務は幅広いので、誰もが自分の可能性を見つけ、それを広げるチャンスがあると思います。新しいことに挑戦するのが好きな方は、ぜひ一度、総務省に足を運んでみてください。

■ 総務省を志望した理由

私は工学部出身なのですが、この知識を活かして働ける官庁を探したとき、いい人ばかりだな、ここなら知識も活かせて楽しく働けそうだなどピンときたのが総務省でした。今現在、ここでよかったなと実感しています。

■ 実際に働いた印象

現在担当の統計調査では、毎月全国の方から回答をいただき、それをまとめて公表しています。結果は新聞に載ることがあったり、内容について問い合わせや取材があったりと、忙しいながらもやりがいを感じています。

■ 学生へのメッセージ

総務省は、本当に幅広い仕事があり、私はその末端の1つで働いています。そのため、省内の職員でも、話を聞くと多様な価値観や考え方を学べます。この環境がいいなと思う方は是非興味を持っていただければと思います。

■ 総務省を志望した理由

説明会や官庁訪問で出会った先輩方が優しくて親しみやすく、公私ともに充実した生活をしていることに魅力を感じました。「この人たちと一緒に働きたい」、「こんなふうになりたい」という思いで総務省に入りました。

■ 実際に働いた印象

志が高く、責任感にあふれる職場です。地方自治に関する部局では、全国各地の地方団体職員の方と共に仕事をします。いろいろな価値観に触れ、周囲の人からたくさんのことを見聞き、成長できるとても良い環境です。

■ 学生へのメッセージ

どんな人でも全てのことを一人で成し遂げることはできないだろうと私は思います。総務省には、失敗したときや困ったときに手を差しのべてくれる先輩がたくさんいます。そんな総務省で、ぜひ一緒に働いてみませんか？

■ 総務省を志望した理由

少しでも地元に貢献できればと考え就職活動をしている中で、地方自治を所管している総務省と出会いました。地元だけでなく、全国各地の地域の課題と向き合いながら、仕事ができる総務省に魅力を感じ、志望しました。

■ 実際に働いた印象

地方自治に関する部局では、地域を元気にするという目標のもと、異なった地域で経験を積んだ職員とともに仕事をします。各地域の現状と向き合い、新しい発見をする毎日、大きな魅力とやりがいを感じています。

■ 学生へのメッセージ

若手のうちから国家公務員としてだけでなく、地方の職場においても働くことは、総務省職員としての大きな魅力です。国と地方の両方の立場で仕事をする、総務省職員の熱い話を、是非一度聞いてみてください。

■ 総務省を志望した理由

いくつかの省庁の説明会に参加しましたが、その中で自分が就職後に働いているイメージが一番浮かんだのは、総務省の情報通信行政だったことから、総務省に官庁訪問しようと決めました。

■ 学生へのメッセージ

どのような人と働くのかは、どのような仕事をするのかと同じくらいに重要です。説明会では業務内容を聞けるのと同時に、実際に働いている人に会うことができる、少しだけ興味があればぜひ参加してみてください。

■ 今後どのような能力をつけていきたいか

仕事を早く正確にということもありますが、それ以上に、何をすべきか前例や指針などがない場合に、限られた時間や情報の中で、どのような行動が最適なのか判断できる能力を身に付けていきたいと思っています！

■ 総務省を志望した理由

前職で、放送・通信サービスを提供する会社に勤務しており、そこでお客様の声から、放送や通信に対する利用者の期待がいかに大きいかを感じ、国レベルでその期待に応えるような仕事をしたいと思ったからです。

■ 実際に働いた印象

日々の上司とのやり取りや、他部署とのやり取りが多いことから、タテにもヨコにも風通しの良い職場だなと思います。疑問に思うことをすぐに先輩や上司に聞ける環境なのもありがたいです。

■ 学生へのメッセージ

自分が関わった仕事がニュースで取り上げられているのを見ると、改めて「国の仕事」のダイナミックさを感じます。みなさんと一緒に働く日を、心待ちにしています！

PROFILE Misato Takaki

平成15年4月 総務省採用
中部管区行政評価局
行政評価局評価監視官付
平成16年4月 静岡行政評価事務所行政相談課
併任 静岡行政評価事務所年金記録確認
静岡地方第三者委員会事務室調査員
平成22年4月 石川行政評価事務所評価監視調査官
併任 福島行政評価事務所行政相談課
行政相談官（～23年9月）
平成24年4月 中部管区行政評価局総務課総務調整係長
平成26年4月 現職

三重行政評価事務所
行政相談課業務係長
高木 美里

国民の声に応えたい

仕事内容

国民の声を聴く仕事

なぜ、総務省が「行政相談」と思いませんか？最近の行政機関は、親切だし、各自で相談窓口を設置していますよね。

でも、問題の当事者同士だと、意外と分かり合えないんです。また、役所の手続は、国民にとって分かりにくく、使いづらい。

だから、総務省の「行政相談」が、国民と行政機関等の間に入り、公正、中立の立場から、問題解決のお手伝いをしています。また、国民から意見、要望を広く受け付けて、様々な分野で行政運営の改善に繋げています。

だから、もっと「行政相談」してもらい、もっともっと行政を良くしていきたい。

そんな思いで、私の勤務する三重行政評価事務所では、行政相談課の職員と県内90人の行政相談委員（ボランティア）が協力して、行政相談の受付・対応、PR活動に取り組んでいます。

職員が少ない分、個人に任される仕事も多いですが、風通しの良い職場環境なので、お互い相談や提案しながら業務を進めています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

なんでもあります

当局で扱うテーマは、多種多様。私は、これまでに仕事で色々な経験をさせてもらいました。

例えば、消えた年金記録が問題になった際、社会保険庁（当時）に代わり、年金の専門でもない我々が、ゼロから判断基準を作り上げ、年金記録の訂正に取り組みました。

また、東日本大震災直後、当局で特別行政相談所を開設しましたが、私は希望して福島事務所でその業務に当たりました。初めは、被災地で役に立てるのだろうかと不安でしたが、被災者の方が、「相談したら、心が軽くなった。」と笑顔になるのを見て、こんな時だからこそ、人に寄り添う支援が必要なんだと思ったら、この仕事ができて良かったと思いました。

諸先輩方の姿を見ていると、当局では、知恵と勇気があれば、どんな問題にも対応できるのではないかと思ってしまいます。その分、日々勉強ですが、社会のお役に立ちながら、様々な知識、経験が得られる仕事なんて、なかなか魅力的じゃないですか？

Private Time

若い時は飲みに行ってばかりでしたが、やっぱり体が資本なので、最近は休日にジムや岩盤浴に行くななど健康的に過ごすようにしています。
また、カメラを持って、仲間や家族とちょこちょこ旅行します。特に、海外で日本にない景色を見たり、文化に触ると、最高にリフレッシュできます。旅先で飲むお酒はまた格別ですね。

PROFILE Kazuhisa Naito

昭和55年4月 行政管理庁採用
北海道管区行政監察局
大臣官房秘書課課長補佐
平成14年4月 年金業務・社会保険庁監視等委員会
事務室主任調査員
平成22年1月 年金業務監視委員会事務室調査官
平成24年4月 併任 行政評価局調査官
平成25年4月 中部管区行政評価局第一部長
平成26年12月 現職

近畿管区行政評価局 総務部長 内藤 和久

あなたの知恵を行政に活かしましょう！

仕事内容

国民の皆さんのお聞きしています！

総務部ではいろいろな仕事をしていますが、そのうち「行政相談」についてお話をします。「国民の皆さんからの様々な苦情や要望等を受付け、具体的な改善方策を提案して関係行政機関に見直しを求め、国民にとってより良い行政を実現するもの」で、つまり、『危ない、困った、不便だ、こうしてほしい、分からない』ことを解決するというものです。

この仕事に当たっては、総務大臣から委嘱されている「行政相談委員」の方にもご協力いただいている。全国で約5,000人、市区町村ごとに1人以上の方にお願いしていますので、あなたのお住まいの近くにも居られるかもしれません。一度お会いしてお話を伺ってみてはいかがでしょうか。

最後に、筆者の隣に写っているのは、近畿管区行政評価局が作成した行政相談のマスコットキャラクターで名前を「なにわ亭相談丸」と言います。彼のことをもっと知りたい方は、http://www.soumu.go.jp/kanku/kinki/kinki_mascot.htmlにアクセス！

そこからいろいろな世界が見えるかもしれません！

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

いろいろな意見が問題を解決！

もう一つの大きな仕事は、各行政機関の業務の実施状況について、行政上の課題や問題点を実証的に把握・分析し、改善方策を提示して、業務運営の改善を図る機能をもつ「評価・監視」です。

それぞれの職員が分担した調査を行い、その結果を部内で議論を行ってアウトプットするプロセスで行っています。

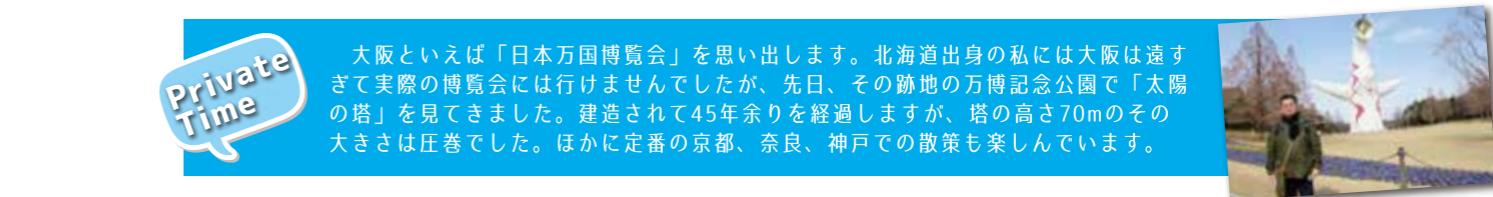
調査結果の内容は、調査を行った職員自身が一番よく理解しているので、「議論」の場では、その職員が調査結果を説明して議論を重ねます。新規採用者といえども自分で調査をすれば自分自身が説明することになります。

それぞれの職員がいろいろな意見を出し合って議論を行うわけですから、意見を出す場合には事柄についてしっかりと論理的な整理、分析、組立をすることが必要な大変な仕事ですが、非常にやりがいのある仕事だと思います。

評価・監視や行政相談の業務でお互いにいろいろな知恵や意見を出し合い、行政の制度・運営の改善を目指しましょう！

Private Time

大阪といえば「日本万国博覧会」を思い出します。北海道出身の私には大阪は遠すぎて実際の博覧会には行けませんでしたが、先日、その跡地の万博記念公園で「太陽の塔」を見てきました。建造されて45年余りを経過しますが、塔の高さ70mのその大きさは圧巻でした。ほかに定番の京都、奈良、神戸での散策も楽しんでいます。



PROFILE *Masato Yamada*

平成20年 4月	総務省採用
平成22年 4月	四国総合通信局無線通信部陸上課
平成24年 4月	総合通信基盤局電波部基幹通信課 重要無線室
平成26年 4月	情報流行政局地上放送課
平成26年 4月	現職

**四国総合通信局
無線通信部陸上課**
山田 雅人

ICTは地方の強力な味方です！

仕事内容

災害に強い無線システムを目指して

私が所属する陸上課では、テレビやラジオの放送局を除く陸上で使用するほぼ全ての無線局の許認可業務を行っており、私はその中でも防災行政無線や消防無線など地方公共団体が使用する無線局の免許、検査業務を担当しています。

地域住民への迅速かつ的確な情報伝達手段として最大限電波を有効活用していくために、地方自治体担当者と運用方法、無線局の設置場所、必要とするカバーエリアなどを調整し、他の無線局と混信が起きないよう考慮しながら周波数や電力を指定し、工事完了後に検査をした上で免許を付与しています。

近年、災害に対する意識が高まる中、情報通信分野においても多様な情報伝達手段の整備や無線システムの強靭化・高度化が進んでいますが、特に、双方向の情報連絡手段の強化のため防災行政無線や消防無線のデジタル化に向けて説明会の実施や財政支援を行うなど整備促進に取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

成長し続ける情報通信

テレビ、ラジオ、携帯電話、Wi-Fiのように身近で使っているものから、警察無線、消防無線、航空無線のように便利で安心な暮らしをつくるためになくてはならないものまで、日常生活の中でたくさんの電波が飛び交っていますが、これらの電波が安心・安全で快適に利用できるように、総合通信局では電波利用ルールの周知啓発や不法無線局の取り締まりを行うなどクリーンな電波利用環境の実現を目指しています。

また、自治体、大学、企業と連携してインターネット利用環境の整備に向けた周知啓発やオープンデータ・クラウドの活用、スマホアプリの開発などに取り組んだり、超高速ブロードバンド基盤の整備や地域コンテンツの全国発信、放送コンテンツの海外展開を推進したりするなど、ICTをフル活用して地域の活性化を後押ししています。

一概に情報通信といっても多岐にわたる業務があり、今後も成長し続ける分野として注目すべき魅力的な仕事です。



週末は日帰りで行ける範囲でドライブがてらご当地グルメを食べに行き、満腹感に浸りながら川辺や海辺でゆったりとした時の流れに身を任せています。四国は自然が多く、山の幸や海の幸も豊富なので、グルメドライブには最適です。



PROFILE *Tomoko Matayoshi*

平成20年 4月	総務省採用
平成22年 4月	沖縄総合通信事務所監視調査課
平成23年 7月	総合通信基盤局電波部移動通信課
平成25年 4月	情報通信国際戦略局国際政策課
平成25年 7月	情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成25年10月	情報流行政局総務課
平成26年 4月	現職

**沖縄総合通信事務所
監視調査課**
又吉 智子

「不法電波」に目を光らせる

仕事内容

不法電波を見つける仕事

放送や携帯電話、航空、船舶、消防、警察無線などの電波を利用した重要無線通信は、私たちの生活の中で重要な役割を果たしています。監視調査課では、これらの重要な無線通信をはじめ、様々な無線システムへの混信や妨害のない安心・安全な電波環境を維持するために、電波監視システムなどを駆使して妨害源の探査及び排除に全力を注いでいます。

混信・妨害の原因の一つに不法電波（免許を受けていない無線局（不法無線局）からの電波発射）があり、たとえば、県内の漁港での不法無線局の疑いのある船舶の調査、一般道路では、不法無線局の多いアマチュア無線や日本で使用ができない外国規格の無線機などを調査しています。調査で不法無線局の疑いの所持者に対して指導文書等を送付し、免許取得や使用を止めてもらうなど、不法電波を撲滅するために日々奮闘しています。さらに改善が見られない悪質なものは、捜査機関との共同取締りで摘発することもあります。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

全国につながりが増えます！

採用後、総務本省で数年間勤務する制度があります。若いうちに総務本省の仕事、総合通信事務所の仕事の両方が経験できるいい機会だと思います。

本省では、ジュネーブにあるITU（電気通信に関する国際連合の専門機関）の理事会に参加する機会にも恵まれ、各国の通信に携わる職員と意見交換が出来ました。また、省内では多くの魅力的な職員と知り合え、総合通信事務所に戻った今でも交流が続いているです。

現在では、全国の監視業務に携わっている方と実務担当者会議や東京で行われる監視の研修を通して交流が出来、他局の混信・妨害の事例や仕事のやり方を聞かせて頂くことが出来、同じ業務を行う上で参考にさせて頂いております。全国につながりが出来、業務の情報交換が出来る事も、総務省の魅力だと思っています。

休日は大学時代から、よくアメリカンビレッジに遊びに行きます。ここはTV「逃走中」のロケ地にも何度も選ばれた複合施設で、シネマやショッピング、ゲームセンター、カラオケ、ボーリング、ビーチなどがそろっており、気分転換するために遊び所としては最適の場です。今日も仕事が終わってから、映画を観に出かける予定です。



とある一週間

- 月曜日**
明日の出張に向け、動向をつかむため電波監視システムで固定監査を行います。
- 火曜日**
申告のあったアマチュア無線局（TAXI）に対して、規正をかけに移動監視を行います。
- 水曜日**
規正をかけたTAXIの情報をPCに記録し、指導文書発送の起案準備を始めます。
- 木曜日**
不法開設の疑いのある漁船の不法開設要件の確認のため、現地にて簡易測定を行います。
- 金曜日**
来週からの捜査機関との共同取締りに向け、測定機材の準備及び現地へ車を輸送します。

中堅職員 Interview インタビュー

■求める人物像

直面した壁(課題)を克服するには、粘り強く取り組むことが大切です。そのことが、様々な知恵を生み、結果、社会に役立つ良い統計を作ることになります。また、そこでの経験は次の仕事への自信にもなります。

■あなたにとって仕事とは

仕事は、自分が成長する場です。仕事を通して、同僚、先輩、上司から自分では思いつかなかった考え方で触れるることは、自分の知識の習得意欲を刺激し、仕事のやりがいにも結びついていると思います。

■志望者へのメッセージ

統計は、私たちの社会の今を映し出す「鏡」であり、その進むべき方向を指し示す「羅針盤」と言われるとおり、統計は行政にとって不可欠なものです。行政を通じて、幅広く社会に貢献ができることが統計の魅力です。



統計局総務課課長補佐
澤木 健
Takeshi Sawaki

■ PROFILE

平成2年11月 総理府採用
統計センター管理部情報処理課
プログラム第4係
平成10年4月 統計センター管理部情報処理課統計専門職
統計センター管理部情報処理課
プログラム第4係長
平成12年4月 統計センター管理部電子計算機室運用第4係長
平成15年4月 國土交通省國土計画局総務課企画第一係長
併任 國土交通省國土計画局総務課
國土情報整備室
平成18年4月 独立行政法人統計センター製表部
情報処理課上級製表職(計画調整担当)
平成20年7月 統計局統計調査部経済統計課
科学技術研究調査係長
平成21年10月 統計局統計調査部経済統計課課長補佐
併任 統計局統計調査部経済統計課
科学技術研究調査係長
(~平成22年3月)
平成24年8月 統計局統計調査部消費統計課課長補佐
平成26年8月 現職

■求める人物像

アンテナが高く何事にも興味を持つ人です。国の中でも特に地方の立場に立って仕事をする総務省。全国のどこで何が起こっているか、仕事・プライベートを問わず、絶えず関心を持つことがあります。

■仕事の極意

受け手の身になって考えることです。当たり前のことですが、単に見聞きするだけでは不十分。実際に地方自治体に勤務し、実務経験を積むことによって初めて、国と地方、お互いの立場が理解できると実感します。

■志望者へのメッセージ

点を線で結び、面として融合させ、地域全体を発展させていくことが行政の醍醐味。日本全体を俯瞰する見地から、全国各地の地域特性を活かした多様なまちづくりに、幅広く貢献できるところが魅力です。



仙台市財政局税務部参事
増田 誠
Makoto Masuda

■ PROFILE

平成 6年 4月 自治省採用
消防庁消防課
財政局財政課
平成 8年 4月 長崎県総務部地方課
平成10年 4月 大臣官房総務課
平成11年 7月 消防庁消防課
10月 消防庁消防課消防団係長
平成13年 1月 総務省大臣官房企画課企画調査第三係長
平成15年 1月 大臣官房総務課調整第二係長
平成18年 4月 自治行政局公務員部公務員課
給与能率推進室給与第一係長
平成19年 7月 大臣官房秘書課秘書専門官
併任 大臣官房企画課頑張る地方応援室
平成21年 7月 消防庁予防課主幹
併任 予防課消防技術政策室主幹
併任 予防課危険物保安室主幹
併任 予防課特殊災害室主幹
命 予防課行政係長事務取扱
自治税務局市町村税課主幹
平成22年 4月 自治税務局都道府県税課主幹
平成23年 4月 自治税務局企画課主幹
平成24年 4月 自治税務局企画課総務室課長補佐
併任 自治税務局企画課総務室課長補佐
仙台市財政局税務部税制課長
平成25年 4月 現職

■あなたにとって仕事とは

時には「厳しく、難しいもの」でありながら、「(例えば趣味のように)楽しく、一生向き合えるもの」ではないかと考えています。そしてそれが、自分を高め、社会に役立つ「何か」になればベストです。

■求める人物像

総務省の仕事は幅広く(私はこれまでICT分野や郵政の仕事、さらには地方自治体勤務まで経験しました)、時には厳しい局面もありますが、常に「強く、明るく、元気よく」一緒に仕事のできる人が望ましいと思います。

■志望者へのメッセージ

総務省でやりたいことを含め、仕事に対する明確な目標、イメージを必ず持つようにして下さい。基本的なことですが、どの仕事にも共通する一番大切なことだと思います。



情報通信国際戦略局情報通信政策課情報通信経済室課長補佐
徳部 潔
Kiyoshi Tokube

■ PROFILE

平成 7年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部能力開発課
平成 7年 7月 大臣官房人事部厚生課
平成 8年 7月 放送行政局総務課
平成10年 4月 大臣官房人事部人材開発課
平成11年 4月 通信政策局政策策課
平成13年 1月 情報通信政策局総合政策課
平成14年 8月 情報流通高度化推進室企画係長
平成16年 7月 情報通信政策局総合政策課主査
平成19年 7月 郵政行政部総務課総括係長
平成20年 7月 情報流通行政局郵政行政部企画課総括係長
平成21年 7月 総合通信基盤局総務課法規係長
平成22年 4月 福岡市総務企画局行政部情報化推進課長
平成24年 4月 情報通信国際戦略局技術政策課長補佐
平成26年 8月 現職

29

30



PROFILE

Kazutaka Izumi

平成16年10月	総務省採用
平成18年10月	独立行政法人統計センター総務部財務課経理係
平成20年 4月	統計局統計調査部統計課個人企業調査係
平成22年 4月	東京行政評価事務所評価監視調査官
平成23年10月	併任 東京行政評価事務所年金記録確認
平成24年 4月	東京地方第三者委員会事務室調査員
平成26年 4月	人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係長
平成26年 5月	人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係長企画担当主査(政策統括官付統計企画管理官付)
	人事・恩給局交流第一係長
	併任 人事・恩給局交流第二係長
	現職

内閣官房内閣人事局
(交流第一係長 兼 交流第二係長)
泉 一崇



PROFILE

Mari Watanabe

平成15年4月	総務省採用
平成16年4月	関東管区行政評価局
平成18年4月	栃木行政評価事務所評価監視官付
平成20年8月	行政評価局評価監視官付
平成22年4月	政策統括官付統計企画管理官付
平成24年4月	統計審査担当主査 (政策統括官付統計審査官付)
平成26年4月	大臣官房秘書課主査
	現職

会計検査院
(第4局農林水産検査第2課調査官)
渡辺 真理

内閣官房内閣人事局に出向中

仕事内容

国家公務員の人事行政

内閣官房内閣人事局は、これまで総務省や人事院が担ってきた国家公務員の人事行政等の業務を集約させ、平成26年5月に発足した組織です。

国家公務員の人事行政には多くの制度があり、そのうちの官民人事交流制度・国家公務員の派遣等に関する制度を担当しています。

官民人事交流制度とは、国家公務員に民間企業の実務を経験させ、行政運営の重要な役割を担うに相応しい人材を育成するなどをして、公務の能率的な運営に資することを目的とするものです。

昨年は、官民人事交流法が改正されたことに伴い、官民人事交流に関する基本方針の見直し・改正を始め、関係団体等への改正の趣旨説明や制度を紹介するパンフレットのリニューアルなどを行いました。

また、国家公務員の派遣等に関しては、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会に国家公務員を派遣させるため、平成32年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別措置法案の作成に参加しています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省の魅力

官庁訪問で総務省を訪れたのは10年以上前になります。

これまでに、独立行政法人統計センターの予算・会計→個人企業経済調査の実施→年金問題への対応→天下り問題への対応→統計法施行状況の報告書をまとめることなどを経験してきました。

いろいろな行政分野の仕事に携わることができる官庁であること。

これが総務省の魅力の一つだと思います。

総務省は、平成13年の中央省庁再編によって旧総務省、旧郵政省、旧自治省が統合されてできた官庁です。

このため、総務省は行政管理、地方自治、情報通信、統計等、「国民生活を支える」多くの任務が与えられており、その任務を達成するべく、更に多くの業務が皆さんをお待ちしています。

いろいろな行政分野で仕事をしてみたい方、是非総務省の門を叩いてみてください。



週末は子供と過ごす時間を大切にしています。子供の関心に合わせて、連れて行ったら喜びそうなところへ出かけます。鉄道に夢中になれば博物館を訪れ、戦隊モノに興味があればヒーローに会いに行き握手をさせたり。子供はこんなことが楽しいのかと思っていたら、いつの間にか楽しんでいる自分に驚くことも。

とある一週間

- 月曜日 別の政令の改正に伴い官民人事交流法施行令も改正することに。
- 火曜日 改正するための説明資料等を作成します。
- 水曜日 上司に改正の内容について説明をし、法制局へ審査の登録をします。
- 木曜日 法制局参事官に説明をした結果、宿題をもらいました。
- 金曜日 宿題について関係者と打合せ。クリアできる見通しがつきました。



会計検査院で働いています。

仕事内容

会計経理の面から行政を見る

私は現在会計検査院に出向し、農林水産省農村振興局が所掌する事業を対象とした検査業務に従事しています。

官庁訪問をしている皆さんなら御存知の方も多いと思いますが、会計検査院は内閣から独立した立場で国の会計経理を検査する機関です。会計経理の検査といつても、金銭の出納など狭い範囲に限定されるものではなく、税金が投入され実施された事業についても検査の対象としています。また、違法不当な事態を指摘するのみではなく、問題の発生原因を究明し、改善の処置を要求することもしています。

私が総務省で以前従事していた行政評価局の調査業務と会計検査院の検査業務では、行政機関等に対する現地調査(実地検査)などにおいて問題点を把握・分析するための観点や手法に共通するところがあるため、総務省での経験が現在の会計検査院での検査業務にも役立っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

欲張りな方へ

自分が官庁訪問をしていた時に何が決め手になって総務省を選んだかというと、業務の幅広さに魅力を感じたからです。当時、私には絶対にここ!という志望先はありませんでした。たくさんの府省庁の説明会に行き、パンフレットを読むとどこも魅力的見え、ますます決められなくなっていたときに出会ったのが、総務省の行政評価局の業務でした。

総務省は、行政評価、行政管理、統計、情報通信、自治等々の幅広い分野を所管していますが、所管分野が広いだけではなく、行政評価や行政管理の業務では対象が総務省以外の業務にも広がります。これまで私が従事してきた行政評価局調査では、厚生労働省所管の厚生年金保険や介護保険、農林水産省所管の農業災害補償、環境省所管の産業廃棄物対策などの業務を対象とした調査を経験しましたが、それでも政府全体から見るとまだ一部に過ぎません。

あれもこれもという欲張りな方にこそ総務省をおすすめします。



近頃、深夜・早朝発着の航空便が増えているので、それを利用して近場の海外へ行くことが多くなりました。土曜日・日曜日で韓国や台湾、金曜日に休暇を取れば(場合によっては休まなくても深夜発にすることで)マレーシアやシンガポール、香港へも行けますのでいい気分転換になります。写真はこの前行ったマカオです。

とある一週間

- 月曜日 前の週の検査で見つけた事案について報告書を作成します。
- 火曜日 1か月後の検査に向けて大まかな検査箇所を決め、資料の借用を依頼します。
- 水曜日 水曜日は全省庁一斉定時退庁日です。リフレッシュのためにも定時で帰宅の途に。
- 木曜日 これまでの検査結果に基づいて班で今後の方針を検討し、意識合わせをします。
- 金曜日 翌々週の検査に向けて事前に借りた資料に目を通します。準備が大切です。





PROFILE

平成 9年 4月 自治省採用
大臣官房会計課
平成 10年 4月 行政局選挙部選挙課
平成 11年 4月 奈良県企画部地域振興課
平成 12年 4月 奈良県総務部市町村課
平成 13年 4月 自治体国際化協会総務部総務課
平成 15年 4月 自治体国際化協会ニューヨーク事務所長補佐
平成 17年 4月 自治体国際化協会シンガポール事務所長補佐
平成 18年 10月 自治体国際化協会総務部企画課主査
平成 19年 4月 自治行政局自治政策課地域情報政策室電子自治体推進係長
平成 20年 4月 自治財政局交付税課交付税第二係長
平成 21年 4月 自治財政局交付税課交付税第一係長
平成 23年 4月 地方公共団体金融機構管理部庶務課庶務係長
平成 24年 4月 自治財政局交付税課主幹 併任 自治財政局交付税課意見処理専門官
併任 自治財政局財政課復興特別交付税室員
平成 26年 4月 現職

Atsushi Wakimoto



芦屋市総務部参事(財務担当部長) 脇本 篤

総務省は魅力溢れる人達の集合体

仕事内容

財政を通して政策を実現する

財政を通して政策を実現する、これが私の財務担当部長としての仕事です。

予算というツールを通して、芦屋にとって必要だと考える政策を実現することです。日々生じる問題や立ちはだかる課題から必要な解決策を見出すことはもちろんのこととして、市長が描く市の将来像から必要となる政策を編み出すことなど、財政の仕事は行政のダイナミズムが盛り沢山です。

単に予算の歳入歳出の帳尻を合わせるのが財政の仕事ではなく、施策の担当部局をリードし、時に奮起を促す役目が求められます。

このような職責を担って日々市長をお支えすることは大変な重責です。その重責を逆に自らの力とする源となっているのは、総務省での経験があるからにはかなりません。

尊敬する総務省の上司、先輩、同僚だったらどのような判断をするだろうか、ということが常に頭の中になります。

背負う責任の重さを感じながら、それを大きな喜びとして、日々仕事に取り組んでいます。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

岐路の選択に際して

皆さんには、職業選択という人生の大きな岐路の一つに立っているところだと思います。幾多にも分かれる道を目の前にして、社会人としての一歩をどの道に踏み出すべきか模索の中にあると思います。

その岐路の選択に際して、このパンフレットを手に、総務省に関心を抱いていただいているところだと思います。

では、総務省の魅力ってなんでしょうか。私は即座に、そこで働く「人」だと答えます。仕事が人を創る、という言葉があります。責任ある仕事を任せられた人が、懸命に取り組むことによって、人としての器がさらに大きくなる、ということだと思います。

総務省では、霞が関勤務において、一人一人が大変大きな仕事を任せられます。また、その経験を糧に、地方自治体勤務においても、重要な仕事に取り組むことができます。

霞が関勤務と地方自治体勤務との行き来の中で、まさに「人」創りを行っているのが総務省です。

週末の楽しみの一つは市内散策です。見知らぬ街を歩くのは心躍りますし、それが自分が赴任した街ならなおさらです。

まだ行ったことのない市の施設などを目標に、道中目に留まつたちょっと洒落た喫茶店にて、谷崎潤一郎や村上春樹など芦屋で過ごした作家の名著にふける至極の道草です。

とある一週間

月曜日

毎週月曜日は市長以下部長級の定例会議に出席し、各部局の案件について協議。

火曜日

午前は財政課と予算の執行方針について協議。午後は教育委員会からの説明受け。

水曜日

市議会本会議に出席。税財政に関する質問に対しては積極的に答弁。

木曜日

午前は決算見込について副市長協議。午後は来年度予算編成について市長協議。

金曜日

税制改正のポイントと条例改正内容について、市税担当課からの説明受け。



PROFILE

平成 15年 4月 総務省採用
自治大学校庶務課
平成 16年 4月 自治財政局地方債課
平成 17年 4月 福島県総務部市町村領域
平成 19年 4月 公営企業金融公庫管理調査部調査課
平成 20年 10月 地方公営企業等金融機関管理部経理課
平成 21年 4月 大臣官房会計課監査企画係長
平成 22年 7月 併任 大臣官房会計課予算執行調査室室員
平成 23年 4月 自治財政局調整課社会保障制度係長
平成 25年 4月 上尾市企画財政部財政課長
平成 26年 4月 現職

Tomohiro Oda

上尾市行政経営部財政課長 織田 知裕

国の最先端としての地方

仕事内容

23万市民の家計を守る

現在私は、人口約23万人ある上尾市の財政の責任者として、市が目指す「笑顔きらめく」ほっとなまちあげお実現のため、各課からの予算要求をとりまとめ、約600億円の使い道を決めていく仕事をしています。高齢化の進行により収入が伸び悩んでおり、全ての要求を実現することが出来ないため、市民にとって何がいま一番必要なのか、自分の「モノサシ」で優先順位をつけて、事業を絞っていくつらい立場でもあります。

しかし、お金がないからこそ知恵の出番です。これまでの自分の知識・経験を総動員し、各課で重複する事業を一つにまとめたり、内容を工夫することで国の補助金を確保するなど、アイデアを出し、担当課と協力して市民にとってのベストを模索していきます。お互いの意見があわないこともありますが、このように市全体を見渡せる立場から、すべての市民の幸せのために働くことができることに大変な責任とやりがいを感じています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

地方は国の末端ではなく先端

「地方は国の末端ではなく先端である」市長からよく言われる言葉ですが、まさにその通りです。国の制度変更に不安をもつ市民・事業者への説明に追われる市職員の苦労、障害をもつお子さんの保護者からの切実な相談、地域の実情を熱く語る市議会議員との議論、これらは私が経験した一部ですが、日本が抱える課題の最先端(現場)がそこにはありました。

総務省は、そんな国の最先端である方が仕事をしやすいように、財政や税制面などで支える役所であり、そのためには時に他省庁にも厳しく注文します。決して楽な仕事ではありませんが、その先の市民に直結する仕事です。

私自身、何か人の役に立つ事がしたいという思いで総務省の門を叩きましたが、地方と国を行き来し、現場を感じ、かけがえのない経験と仲間を得て、その選択は間違っていたなかったと断言できます。皆さんも、私たちと一緒に人の役に立つ仕事をしてみませんか。



休日は、市内・近隣で行われるイベントに良く参加します。上尾市は東京方面へも電車1本で行けるなど、アクセスも良く便利ですが、自然も豊かで公園も整備されており、すっかりランニングにはまってしまいました。箱根駅伝のランナーも出場する市のマラソン大会に出場し、記録更新に励みます。



とある一週間

月曜日

いつもより早めに出勤!幹部会議で来年度予算案を報告します。

火曜日

定例記者会見に出席。市長とともに記者からの質問に答えます。

水曜日

前日の発表が新聞記事に!各議員にアポ取りし、予算案の説明。

木曜日

議会でのあらゆる質問を想定し、準備をします。

金曜日

予算案審議の議会に出席。緊張しながらも丁寧に答弁します。



PROFILE

Yusuke Kuroda

平成24年 4月 総務省採用

政治資金適正化委員会事務局

平成25年 4月 自治財政局公営企業課準公営企業室

平成26年 4月 現職

長野県企画振興部市町村課

黒田 祐介

**PROFILE**

Asuka Nomoto

平成24年 1月 総務省採用

自治行政局選挙部管理課

平成25年10月 長崎県企画振興部地域振興課

平成26年 4月 現職

長崎県企画振興部市町村課

野本 明日香



地方のみなさんとともに

仕事内容

多様な自治体の姿を見ながら

私はいま長野県に出向しており、県内市町村の財政運営サポートや財政状況のとりまとめを主な業務とする市町村課財政係というところで働いています。長野県は、人口約40万人の中核市から、人口500人にも満たない小さな村まで多様な77もの市町村で構成されているのですが、当然それぞれ異なる事情を抱えており、市町村から財政に関する相談があれば個別に詳しい状況を伺い、ときには現地で実際の状況を見るなどで、その地域の視点に立ちながら一緒に悩み、解決への道を探っています。財政用語は難しいものが多く、ひとつひとつの意味を理解するのにも苦労しますが、市町村の想いに応えるような結果が導き出せたときはホッとします。

今までほぼ縁がなかった長野県での仕事には不安もありましたが、総務省で仕事をしているだけでは分からなかった地方自治の現場の事情も少しずつ見えてきますので、総務省に戻ったときに必ず役に立つ経験になると思っています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

地方のための制度づくり

総務省では、総務省採用職員のほか、日本全国の地方公共団体から出向してきている方々も同じ職場で働いています。みなさんは、長年地方自治の現場で仕事をされてきた方々ですので、地方の実情を詳しく知っておられます。そんな方々から地方の色々な話を教えて頂きながら、地方のためになる制度設計等と一緒に行うのが総務省ならではの魅力だと思います。

また、総務省で仕事をしていて上司の方によく教えられたのは、自分が担当している業務は自分が日本で一番詳しいと思って仕事をしなくてはならないということです。総務省には日々全国の地方公共団体から制度等に関する質問が寄せられます。それらは市町村や都道府県では判断がつかなかったものなので、総務省が回答できなければ誰も回答できる人がいません。難しい質問も多く大変なこともありますが、このような責任のある仕事ができるのも、総務省ならではだと思います。

Private Time

週末は県内を巡り、その土地の名物を食べたり温泉に入ったりしています。また、新たな趣味として長野県庁のそば打ち部に入部しており、熟練の職員の方からそばの打ち方を教えて頂き、そのそばを食べながらそば談議に花を咲かせることもあります。9月には、年に一度のそば打ちの段位認定試験を受け、無事に初段を取得できました。

とある一週間

月曜日

市町村から交付金の実施計画が提出され、それが適当なものか1つ1つチェックしました。

火曜日

業務の合間に研修を受講。ワークライフバランス等について学びました。

水曜日

今日は定時退庁日なので、時間通り業務を終わらせ、係の皆さんと飲みに出来かけました。

木曜日

町から財産処分について相談があったので、事情を聞きつつ対応策を検討しました。

金曜日

市役所に出張し、起債検査を行いました。ランチは地元の名物をいただきました。

Private Time



やりがいを感じさせる場所

仕事内容

地域の「声」から学ぶ

地方のために働く総務省では、若手のうちから地方へ赴任するチャンスが与えられています。総務省職員として採用された私は、現在長崎県の職員として働いています。各団体が財源確保のために起こす地方債の手続き業務や地方交付税の数値の取りまとめなどが主な担当業務です。長崎県は全国的にも市町村合併が進んでいる地方自治体であり、また県内には数多くの離島があります。そのため、それぞれの地域の特徴をしっかり理解した上で、各団体に見合った助言をすることが日々求められています。そして担当業務によっては、総務省の担当課とやり取りすることがあり、有利な財源を確保するため、時には粘り強く掛け合うこともあります。市町に近い立場の県庁職員だからこそ聞ける現場の声を大切に、今できる最大限の解決法や対処法を見つけていくことを常に心がけながら、日々勉強しています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

様々な立場から得られるもの

入省後の約二年間私は選挙部に所属し、その間二度の国政選挙を経験しました。入省前の私は選挙についてあまり関心がありませんでしたが、実際選挙を管理執行する立場に立ってみると、一回の選挙に多くの総務省や地方自治体の職員が関わっている事を知りました。一年目の私は微力ながらもその大勢の中の一人として、選挙が無事終えたことに少しの自信と経験を得ることができました。

そしてその少しの自信と経験を胸に、私は今県の職員として、市町村は今どんなことを必要とし、どんなことに頭を悩ませているのかをしっかりと受け止め、地域の実情に見合った助言を行う立場に立っています。ここで得られた経験や知識もまた着実に自分の糧となり、総務省に戻った後も仕事の幅を広げてくれるものだと信じています。

もし総務省に少しでも興味を持たれているのなら、是非一度話を聞きに来てください。きっとここで何かを得られるはずです。

Private Time

長崎県内には数多くの観光スポットがあり、休日は主に同僚と観光や美味しいものを食べに行ったりしています。また県内には離島も多く、去年の夏はみんなで島にキャンプしに行きました。島の景色や特産品を堪能しながら、同僚や市町の方と一緒に交を深めることができました。総務省の先輩や後輩も遊びに来てくれました。



とある一週間

月曜日

町役場へ貸付金の使途状況調査に行き、夜は町の担当者と懇親会で色々語り合いました。

火曜日

年末に行った県外視察の成果発表会で、私たちの提案に質問が集中してあたふた。でも無事終わって一安心。

水曜日

総務省からの照会へ回答するため、全市町からの回答をチェックし、数値の取りまとめをします。

木曜日

県内小学校において開催される模擬選挙に投開票立会人として参加。本番ながらの投開票に、会場内に緊張の雰囲気が漂っています。

金曜日

交付税検査の復命書作りのために、書類の整理や数値の再チェックを行います。

在中華人民共和国日本国大使館二等書記官 小玉 豪人



■ PROFILE

Hideto Kodama

平成12年 4月 郵政省採用
平成12年 7月 大臣官房人事部人事課人材開発室
平成13年 1月 電気通信局電気通信事業部業務課
平成15年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部
平成16年 4月 料金サービス課
平成17年 10月 総合通信基盤局電波部衛星移動通信課
平成18年 4月 総合通信基盤局国際部国際経済課
平成19年 4月 総合通信基盤局国際部国際経済課
平成20年 4月 多国間経済室
平成22年 7月 人事院行政官国内研究員
(東京大学公共政策大学院)
平成24年 6月 総合通信基盤局電気通信事業部
高度通信網振興課専門職
平成22年 7月 情報通信国際戦略局国際政策課
北米係長
平成24年 6月 現職

中国で、1人でも多くの日本ファンを!!

仕事内容

日中関係の将来の基礎作り

2012年6月から出向し、在中国日本大使館で勤務しています。私が所属する広報文化部の目的は、1人でも多くの中国人に日本を好きになってもらうことです。

中国では、党・政府が報道機関を掌握しており、日本に関する偏向した報道が跋扈しています。現在すら、日本は、軍国主義者が支配する好戦的な国と語られ、その影響で日本に悪印象を抱く中国人は少なくありません。このような悪印象を除去し、日本の真の姿を知ってもらうため、我々は様々な活動しています。

私の担当は青少年交流で、中国の若者を短期間日本に招聘する業務をしています。既に2,000人以上が訪日し、日本の美しさ、秩序正しさや日本人の親切さに感動して帰国しています。百聞不如一見の諺のとおり、百の言葉より、現実の日本を目で見れば、印象は一変します。両国の若者が偏見を排して交流し、友情を育むことは、将来の日中関係を支える大きな財産になり、日々この仕事の意義深さを感じています。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

人生いろいろ、仕事だっていろいろ

行政改革、情報通信、地方自治など、総務省ほど所管する業務が多様性に富む役所は日本にないでしょう。また、留学の機会にも恵まれていますし、私のように在外公館で、広報文化という総務省の所管とは違った業務を担当することもあります。国内外問わず、様々な経験ができるることは、総務省の大きな魅力の1つです。

私は今まで中国を旅行したことすらなく、予備知識はゼロでした。もし出向しなければ、日本のテレビを見て、毎日北京はPM2.5に覆われ大変だと思ったでしょう(空気は本当にひどい日もありますが、とても空気が良い晴天の日もあるのが実情)。また、反日デモが起こるこの国で、実は日本語を学ぶ人々が世界で一番多いこと、日本語専攻の学生は留学せずに高い日本語能力を獲得していること、日本のアニメや漫画が大好きな中国の若者が沢山いることも実感できなかったでしょう。よって、私はこの出向が人生にとって貴重な糧になっていると確信しています。



趣味はジョギングです。ここ5年ほど最高体重を更新し続けてきたので、最近、食事制限とともに週5日ジョギングを行ない、2か月で8kg減量しました。2012年には北京国際マラソンを完走しましたが、この時は体が重く5時間36分もかかったので、中国にいる間にもう一度マラソンを走り、4時間台を目指すつもりです！

とある一週間

- 月曜日 訪日する北京市の大学生等100名の壮行会を大使館で開催。クイズ大会で大盛況。
- 火曜日 来客対応。5月開催の日中交流イベントに関する打ち合わせ。
- 水曜日 中国の国際交流機関と日本料理店で会食。日本酒の値段の高さに仰天。
- 木曜日 日本映画上映会のお手伝い。この日は周防正行監督の「Shall We ダンス?」。
- 金曜日 コンテンツ企業が集まる研究会に出席し懇親会。業界の人と会う1月1の貴重な機会。



■ PROFILE

Masayuki Negishi

平成15年 4月 総務省採用
郵政行政局総務課
情報通信政策局技術政策課
平成17年 8月 郵政行政局郵便企画課
平成19年 10月 郵政行政局郵便課
平成20年 7月 大臣官房秘書課
平成21年 7月 情報流通行政局放送政策課企画係長
平成24年 8月 情報流通行政局放送政策課主査
平成25年 4月 現職

人事院行政官国内研究員 (一橋大学大学院)

根岸 正幸

くにたち

国立て考える

仕事内容

一橋大学大学院での学び

私は、現在、行政官国内研究員として、一橋大学大学院商学研究科に留学し、企業行動に関する研究を行っています。

総務省では、情報通信技術(ICT)の発展に取り組んでいます。ICTの発展のためには、様々な関係者の利害が合致し、意識的・無意識的な協同が行われるような制度・政策を実現することが必要になります。そのため、ICTの利用者の考えとともに、ICTの提供主体である企業の考えを深く理解しておく必要があります。

例えば、日本企業は収益性・生産性を向上させることが必要だと言われています。そのため、企業では、どのような取組を行おうとしているのか、その原理を論理的に理解するために、学術的知見も活用しながら、企業行動を研究しています。

しかしながら、企業行動を学べば学ぶほど、総務省における業務には、多様な知識や感覚が必要であると感じられるようになったのも事実です。だからこそ、総務省には多様な人材が必要なのだろうとますます考えるようになりました。

総務省について新規採用者へ伝えたいこと

成長できる仕事

総務省に入省してから、12年間、たくさんの成長機会を得ることができたと感じています。現在の留学はもちろんですが、特に日々の業務を通じて成長することができたのは、信頼できる職場の方々に恵まれたおかげでした。

国民の皆さんに影響を及ぼす制度や政策に関する業務ですので、非常に難しい業務にも日々直面し、時には失敗を犯したことありました。しかし、その度に上司や同僚をはじめとした方々に支えられて、無事に業務を進めることができました。信頼できる職員というのが総務省という職場に対する私の印象です。

これをご覧になっている皆さん、仕事を選ぶに当たって、何を求めていらっしゃるでしょうか。面白い仕事、自己成長できる仕事というものは、たくさんあることも確かです。しかし、そのような仕事を求めていらっしゃる方であれば、総務省という職場も、あなたにとってふさわしい仕事であるように思えます。



美味しいコーヒーは好きですか？あまり深く考えなくとも、良い豆にさえ出会えば、きっと好きになるでしょう。難しいことはいりません。また飲みたいと思えたいいのでは。ちょっと苦く、ちょっと甘く、ちょっとした酸味に、この香り。美味しいコーヒーがあると、ほんの少しだけ、幸せになれる気がします。



とある一週間

月曜日

大学院で最重要のゼミでは、予定を大幅に超過して21時まで議論は白熱。

火曜日

講義では深く考えさせられます。そして大量の課題に追われています。

水曜日

今日こそは早く勉強を終わらせようと思いましたが、終わってみると夜です…

木曜日

早めに帰宅。家族との夕飯に間に合うことができました。

金曜日

本日も一日、勉強に集中できました。社会人になった今、ありがたいことです。

Q & A

Q 最近の採用実績は？

A 平成26年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が52人、地方支分部局が58人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間のII種試験合格者、一般職（大卒程度）試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

本省採用者	地方支分部局採用者		
	管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所	
24年度試験合格者	39(11)	8(1)	6(1)
25年度試験合格者	48(12)	33(14)	18(4)
26年度試験合格者	52(18)	40(17)	18(8)

★人数は各年度の国家公務員II種採用者、国家公務員一般職（大卒程度）採用者数 ★カッコ内は女性の内数
※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 総務省ではどのような人材を求めていますか？

A 総務省は、行政管理・行政評価・地方自治・情報通信・郵政行政・統計・消防防災といった非常に幅広い分野の業務を行っています。したがって、こうした様々な分野の業務や社会経済情勢の急速な変化に、柔軟に対応が可能な人材を求めています。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合もあります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、テレワークが可能な部署もあります。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務（例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など）を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合もあります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります（3～4ページもご覧ください）。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成26年度を例にとると、総務省独自の業務説明会（6月30日～7月8日）、人事院主催の合同説明会（全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞ヶ関OPENゼミ）等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成27年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

【総務省ホームページ 採用情報】→
http://www.soumu.go.jp/menu_syokai/saiyou/index.html



【人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報NAV】→
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

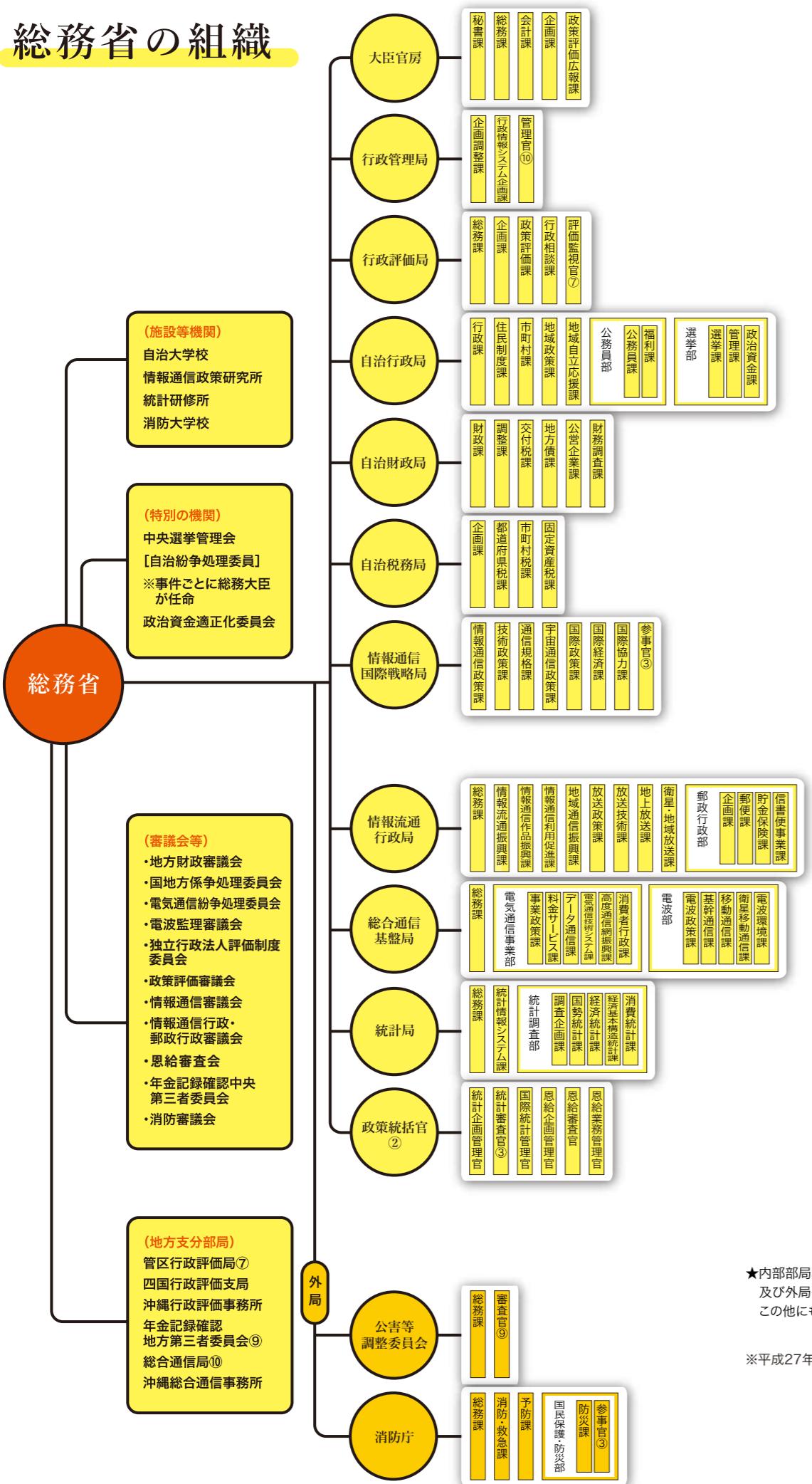


Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。



総務省の組織



連絡先

採用予定部局 総務本省 ※消防庁を含む

採用窓口	連絡先
事務系 大臣官房 秘書課人事係	〒100-8926 千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第2号館 7階 03-5253-5111(代) 03-5253-5073・5074・5075(直)
【情報通信分野】 総合通信基盤局 電波部電波政策課	〒100-8926 千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第2号館 10階 03-5253-5873(直)
【統計分野】 統計局 総務課人事係	〒162-8668 新宿区若松町 19-1 総務省第2庁舎 03-5273-1118(直)

採用予定部局 管区行政評価局

採用窓口	連絡先
北海道管区行政評価局 総務課	〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代)
東北管区行政評価局 総務課	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-262-7831(直)
関東管区行政評価局 総務部総務課	〒330-9717 さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館 048-600-2302(直)
中部管区行政評価局 総務課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館 052-972-7411(直)
近畿管区行政評価局 総務部総務課	〒540-8533 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館 06-6941-3431(直)
中国四国管区行政評価局 総務課	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館 082-228-6172(直)
四国行政評価支局 総務課	〒760-0068 高松市松島町1-17-33 高松第2地方合同庁舎 087-831-3101(直)
九州管区行政評価局 総務課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎 092-431-7081(直)
沖縄行政評価事務所 総務課	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎 098-866-0145(直)

採用予定部局 総合通信局

採用窓口	連絡先
北海道総合通信局 総務部総務課	〒060-8795 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代) (内線) 4607
東北総合通信局 総務部総務課	〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-221-0606(直)
関東総合通信局 総務部総務課	〒102-8795 千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎22階 03-6238-1625(直)
信越総合通信局 総務部総務課	〒380-8795 長野市旭町1108 長野第1合同庁舎 026-234-9964(直)
北陸総合通信局 総務部総務課	〒920-8795 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎 076-233-4413(直)
東海総合通信局 総務部総務課	〒461-8795 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館 052-971-9106(直)
近畿総合通信局 総務部総務課	〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館 06-6942-8507(直)
中国総合通信局 総務部総務課	〒730-8795 広島市中区東白島町19-36 082-222-3306(直)
四国総合通信局 総務部総務課	〒790-8795 松山市宮田町8-5 089-936-5012(直)
九州総合通信局 総務部総務課	〒860-8795 熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎 096-326-7809(直)
沖縄総合通信事務所 総務課	〒900-8795 那覇市旭町1-9 カフーナ旭橋B-1街区5F 098-865-2300(直)